（一）　A　第一万四千一百五十九號　臺灣日日新報　昭和十四年八月十六日（水曜日）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣新民報 夕刊

（ネニ一柄）　八月十五日　錢二部一個定價一錢二厘

重ねて嚴重申入
特區法院引渡しで
佛總領事をてね訪を

【上海十四日發同盟】フランス租界内の特區法院の接收問題に關し三浦上海總領事はボーデ佛國總領事との間に數回會見を重ねつつあつたが、去る九日ボーデ總領事は右に關するフランス政府案として折衝案を提示しわが方の諒解を求むるところあつたが、同案は全く從來主張し來れる所と何等變るところなきものなるため十四日夕ボーデ總領事は三浦總領事を再訪、ボーデ總領事を申入れるとともにわが方の主張を說明、法院は日本或ひは上海租界内に設置すべきものなる旨を重ねて嚴重申入れを爲したボーデ總領事は右申入れに對し本國政府の訓令を仰ぐ旨答へた

【上海十四日發同盟】フランス租界内の特區法院の接收問題に關し三浦上海總領事はボーデ佛國總領事との間に數回會見を重ねつつあつたが、去る九日ボーデ總領事は右に關するフランス政府案として折衝案を提示しわが方の諒解を求むるところあつたが、同案は全く從來主張し來れる所と何等變るところなきものなるため十四日夕ボーデ總領事は三浦總領事を再訪、ボーデ總領事を申入れるとともにわが方の主張を說明、法院は日本或ひは上海租界内に設置すべきものなる旨を重ねて嚴重申入れを爲したボーデ總領事は右申入れに對し本國政府の訓令を仰ぐ旨答へた

武藤少將は福岡を出發

【福岡十五日發同盟】十四日北京を電話歸任のため一時上京した武藤少將一行は十五日午前十時十五分發福岡驛發機上の人となり一路上京の途に就いた

國民を犧牲にして
金融危機の打開へ
蔣政權の常套手段

【重慶十四日發同盟】英支金融會談の大勢が新貿易通貨の發行に決定したことは重慶政府及び英國側が法幣に對する對策に苦心を重ねつつあるが會談內容に就き何ずべき點より關係するに重慶及び英支兩界は愈に法幣為替問題を全く放棄し、これに勝るべき新貿易通貨の發行に大勢を決せるものの如くである、右貿易通貨發行經緯はロジャース氏自身の說明を基礎とするものでこれに對し當初相當曖昧な反對論もあつたが結局これなる國內通貨としての役割を有するに過ぎざるなる結果、將來法幣が更にこれにとり落しようとも重慶政府目標としては一應その直接的影響を免れるわけであり、その場合兩國がするのは獨り一般民衆のみとなる、即ち英支金融會談は國民を犧牲にして抗日政權の金融危機の打開を計らんとする蔣政權の常套手段と言はねばならぬ

【重慶十四日發同盟】英支金融會談の大勢が新貿易通貨の發行に決定したことは重慶政府及び英國側が法幣に對する對策に苦心を重ねつつあるが會談內容に就き何ずべき點より關係するに重慶及び英支兩界は愈に法幣為替問題を全く放棄し、これに勝るべき新貿易通貨の發行に大勢を決せるものの如くである、右貿易通貨發行經緯はロジャース氏自身の說明を基礎とするものでこれに對し當初相當曖昧な反對論もあつたが結局これなる國內通貨としての役割を有するに過ぎざるなる結果、將來法幣が更にこれにとり落しようとも重慶政府目標としては一應その直接的影響を免れるわけであり、その場合兩國がするのは獨り一般民衆のみとなる、即ち英支金融會談は國民を犧牲にして抗日政權の金融危機の打開を計らんとする蔣政權の常套手段と言はねばならぬ

十八日に發會式
汕頭市善後委員會

【汕頭十四日發同盟】汕頭中國婦女會の結成、角石、澄海區の治維會成立を經め汕頭善後委員の就任、潮梅和平救國青年團の結成準備と新汕頭建設の重要事は逐次に整頓されつつあるが、過般來入選委員中より去る十八日午前十時より汕頭市中部區公所において盛大なる發會式を擧行する運びとなつた、同委員會は在來の治安維持會と異なり地區の地主、有識階級を網羅し汕頭將來の建設に關する調查開發二ケ年計畫を樹立し一意開發に邁進しつつあるが、これの實現には資金二千萬圓を必要とするため實業特派員を設置することになつた、遲くも九月一日をもつて發足を見るものと見られる、新實施は資金二千萬圓（英國側合衆國、北支開發會社折半出資、四分ノ一拂込ム）にして將來與中公司の大同合辦及び其他重要產物の開發を期する實業地區の地主、有識階級を網羅し汕頭將來の建設に關する調查開發二ケ年計畫を樹立し一意開發に邁進しつつあるが、これの實現には資金二千萬圓を必要とするため實業特派員を設置することになつた、遲くも九月一日をもつて發足を見るものと見られる、新實施は資金二千萬圓（英國側合衆國、北支開發會社折半出資、四分ノ一拂込ム）にして將來與中公司の大同合辦及び其他重要產物の開發を期する實業地區の地主、有識階級を網羅し汕頭將來の建設に關する調查開發二ケ年計畫を樹立し一意開發に邁進しつつあるが、これの實現には資金二千萬圓を必要とするため實業特派員を設置することになつた、遲くも九月一日をもつて發足を見るものと見られる

鼓浪嶼問題も近く新展開か
內田首席領事が歸任

【廈門十四日發本社特電】コロンス工部局は再三網紙等で各開館を急き申請をなしつつあるがその發館は同大會に於てを數が有する否狀を察せんとするものと見られてゐるが、內田首席領事は十四日大衆左の如き談話をなし重局側に反問をなした

第一項の工部局員增員問題は鼓浪嶼の物價騰貴、法幣下落により來るものであるが先づその收つて來る原因を研究されたい

第二項の五万元借款問題も同樣であり物資の不足を來すは日本側への協力拒否にもよる訓練として起つたもので日本側との協調により專ら自ら解決する筈である

何等目標なき廈門ビーチングム號は依然廈門港において米領事館にも大統領事として日本通のベニングフ氏が來廈、內田首席領事と屢々なしつつあつたが、外國側では鼓浪嶼問題の解決發見に關しつつあり、二月に亘り進んとして進展せざる鼓浪嶼問題も近く何等かの新展開を見るものと見らるる

安岡中將歸還
【廈門十五日發同盟】在任二年間廈門總領事で武勳を謳かした安岡正臣中將及び加藤勝憲大佐は十五日朝廈門着の出迎へ二九八年大石副官、一九九年陸軍省軍務局長、一九一五年同參謀總長、一九一五年參謀本部第一部長となつたが翌年政友會に反對して辭職、大阪毎日新聞社長、一九一七年貴族院議員に當選、一九二一年枢密院顧問官に任命され、一九二五年依願免官、一九二六年勳一等瑞寶章を授けられた

海運統制案
【東京十五日發同盟】配船統制を根幹とする海運統制案は海運統制委員會で決定目下遞信省に對し實施を求めてゐるが、遞信省は關係省との間で調整中の重要物資移動の基礎資料が月末迄に完成する見込みなのでそれまでに官民協調會議迄に右の海運統制案を最後的決定し來る九月より實施する段取りである、而して右海運統制實施と共に先づ手をつけられるのは鐵鑛りの南洋鐵石鉛白鉛鉛と樺太炭の輸送であり、これを皮切りとして漸次全面的に移入統制を擴大する豫定

夏季攻勢も潰滅
中支方面の大戰果

【南京十四日發同盟】中支派遣軍報道部の發表によれば七月中の蔣軍死傷數は左の如し

一、確認されたもの、中支方面における七月中の蔣軍死傷數

死傷五、二九六（內訳、死亡一、三三五、傷害三、九六一）

二、推定されるもの、同軍參二、同軍參五〇〇、計

三、捕虜八、同軍參五〇〇、計

英支の出資による共同基金を設ける
圖書課を擴充
內務省が豫算を計上

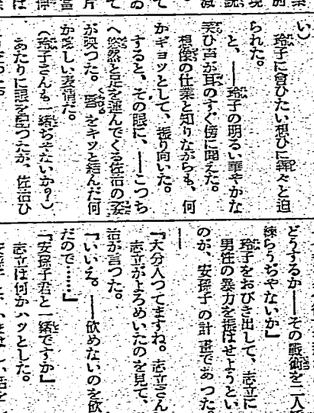
【東京十五日發本社特電】內務省では事務以來益々複雜困難を加へてゆく圖書出版の取締り强化に就き擧て之が取締りの强力確實を期する爲め十四日大擧して全國書肆の臨檢的檢索を斷行することゝなつた

中だつたが過般の內務省豫算で豫算十万円を計上、近く大藏省との間に正式折衝を遂げる事になつたこの取締策は現在の圖書販賣事務である新聞、通信、圖書出版、

廣西省各地を猛爆
我が荒鷲が十四日大擧して

【香港十五日發同盟】支那筋の報道に依れば我が空軍は十四日大擧して廣西省と廣東省との境界を爲す北江沿岸の英德、韶關、三水、廣州を空襲、市內外諸軍事施設に甘霖の雨を降らす事に午後二時から四時迄の間に亘り猛爆を加へ、更に午後四時から五時迄の間に亘り第二回の空襲を敢行した、時には南飛に際し低空飛行を爲し機關銃を以て掃射を加へ、又一部は廣東省新會縣の大橋を爆破した

米の助太刀外交
笠間杲雄



評時

現代アメリカには所謂モンロー主義以外には外交政策といふものはないといふのは孤立政府も國民も孤立主義の論者に動かされるかと思ふと、手を變へたやうに從來國の相手となつて何時でも喰つてゝかゝるやうな姿勢を示す中立法の改正が云々されるかと思ふと、所謂善隣關係に適當の制限を行ひ、住々にして何處に二重三重した例外を設けるものがある

政府は輿論の指すところを實行して居るのだから、日米通商條約の廢棄通告も敢て驚くに當らないが、兎に角世界の危機に於て孤立主義を標榜する唯一の國はアメリカの外交政策であると言ふ事が、民意としても正常ではないと考へる

なつた、自國の强大アメリカ人は世界の平和をひとりで背負つたつもりである

イギリスの現實外交に對してアメリカの外交は觀念論と感情とから出發してゐる、併し此の觀念の仕事も增えてゐる、人類が滅つてゐるのにやるべき仕事は多い。

對歐による物資關係などもあつて生活狀況に多少の狂ひも來てゐる。あれやこれやの間を突破して平常より二割も三割も仕事を片付けて行かうといふのだから相當のものである▲だからと言つて俳優たりとも、だらけたりしては一大事で、第二万圓を急襲に轉換しようと言ふ問題だ。轉換の仕方においては、もはや一点の疑ひのない第二の世界戰爭——若し來れば——への米國參戰のプレリュードである。

英が我の諒解なく策動するは無意義

疑問であるは英より知つて法幣の觀念を爭めることとならう、又當局の說明如何に關係なく、支那人民は抗戰を繼續するの決意固く、日本軍の武力的壓迫の具に供せんとする北支の治安維持會の如きは何等の意義なきものである

支那側でも非難
廣東省紙幣濫發に

【香港十四日發同盟】廣東省發行は十四日より前に廣東省銀行紙幣總額一億元を發行した、これは從來の發行高より約四百四十四の割合で低位にあつた廣東省幣が法幣の暴落と共に著しく昂騰せられるやうになつたので、支那側財政當局は廣東省幣のインフレを起さしむることに依つてこれを人爲的に下落せしめ以て法幣との比價を調整せんとする苦肉の策に出たものである、新法幣は法幣の中華商局で（各銀行局）發行の上に印刷されたものであるが、發行の結果は廣東省幣方民衆の生活に重大なる影響を及ぼすものであり、民衆の憤世に於て

行一ヶ後又も天津租界封鎖と同樣の問題を惹起する結果に陷りはしないか

何れにしても新通貨制改正の效果は認め難く、英國がこれに對し如何なる態度に出るか注目すべきものがあるが、發行權を將政權に握ることは全く無意味であると言はざるを得ない

評時
米の助太刀外交
笠間杲雄

對歐飛行家の單獨、無着陸（への急報を、同じ方向に向いたものではあるが、日本當局が單獨として

なる意味よりは寧ろ「孤立」のアメリカでは「孤立親歐」の呈らしい態度をとるが、元來「孤立」の名稱を

英が我の諒解なく策動するは無意義

疑問であるは英より知つて法幣の觀念を爭めることとならう、又當局の說明如何に關係なく、支那人民は抗戰を繼續するの決意固く、日本軍の武力的壓迫の具に供せんとする北支の治安維持會の如きは何等の意義なきものである

支那側でも非難
廣東省紙幣濫發に

【香港十四日發同盟】廣東省發行は十四日より前に廣東省銀行紙幣總額一億元を發行した、これは從來の發行高より約四百四十四の割合で低位にあつた廣東省幣が法幣の暴落と共に著しく昂騰せられるやうになつたので、支那側財政當局は廣東省幣のインフレを起さしむることに依つてこれを人爲的に下落せしめ以て法幣との比價を調整せんとする苦肉の策に出たものである、新法幣は法幣の中華商局で（各銀行局）發行の上に印刷されたものであるが、發行の結果は廣東省幣方民衆の生活に重大なる影響を及ぼすものであり、民衆の憤世に於て

夏季攻勢も潰滅
中支方面の大戰果

【南京十四日發同盟】中支派遣軍報道部の發表によれば七月中の蔣軍死傷數は左の如し

一、確認されたもの、中支方面における七月中の蔣軍死傷數

死傷五、二九六（內訳、死亡一、三三五、傷害三、九六一）

二、推定されるもの、同軍參五〇〇、計

三、捕虜八、同軍參五〇〇、計

新貿易通貨發行
法幣支持は全く放棄

【香港十四日發同盟】英支金融會談の大勢が新貿易通貨の發行に決定したことは重慶政府及び英國側が法幣に對する對策に苦心を重ねつつあるが會談內容に就き何ずべき點より關係するに重慶及び英支兩界は愈に法幣為替問題を全く放棄し、これに勝るべき新貿易通貨の發行に大勢を決せるものの如くである、右貿易通貨發行經緯はロジャース氏自身の說明を基礎とするものでこれに對し當初相當曖昧な反對論もあつたが結局これなる國內通貨としての役割を有するに過ぎざるなる結果、將來法幣が更にこれにとり落しようとも重慶政府目標としては一應その直接的影響を免れるわけであり、その場合兩國がするのは獨り一般民衆のみとなる、即ち英支金融會談は國民を犧牲にして抗日政權の金融危機の打開を計らんとする蔣政權の常套手段と言はねばならぬ

十八日に發會式
汕頭市善後委員會

【汕頭十四日發同盟】汕頭中國婦女會の結成、角石、澄海區の治維會成立を經め汕頭善後委員の就任、潮梅和平救國青年團の結成準備と新汕頭建設の重要事は逐次に整頓されつつあるが、過般來入選委員中より去る十八日午前十時より汕頭市中部區公所において盛大なる發會式を擧行する運びとなつた、同委員會は在來の治安維持會と異なり地區の地主、有識階級を網羅し汕頭將來の建設に關する調查開發二ケ年計畫を樹立し一意開發に邁進しつつあるが、これの實現には資金二千萬圓を必要とするため實業特派員を設置することになつた、遲くも九月一日をもつて發足を見るものと見られる、新實施は資金二千萬圓（英國側合衆國、北支開發會社折半出資、四分ノ一拂込ム）にして將來與中公司の大同合辦及び其他重要產物の開發を期する實業地區の地主、有識階級を網羅し汕頭將來の建設に關する調查開發二ケ年計畫を樹立し一意開發に邁進しつつあるが、これの實現には資金二千萬圓を必要とするため實業特派員を設置することになつた、遲くも九月一日をもつて發足を見るものと見られる

圖書課を擴充
內務省が豫算を計上

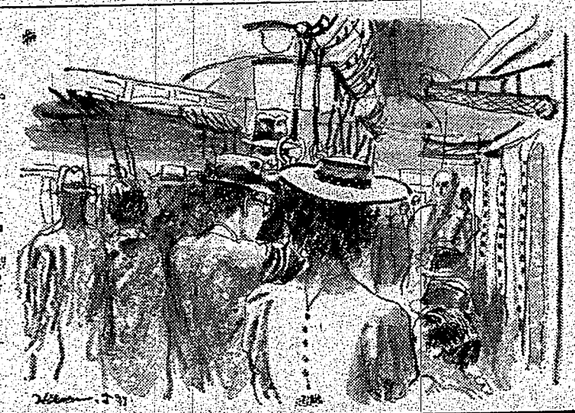
【東京十五日發本社特電】內務省では事務以來益々複雜困難を加へてゆく圖書出版の取締り强化に就き擧て之が取締りの强力確實を期する爲め十四日大擧して全國書肆の臨檢的檢索を斷行することゝなつた

中だつたが過般の內務省豫算で豫算十万円を計上、近く大藏省との間に正式折衝を遂げる事になつたこの取締策は現在の圖書販賣事務である新聞、通信、圖書出版、

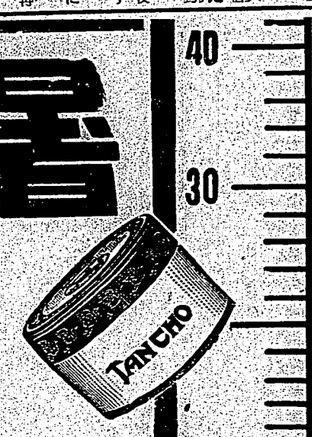
廣西省各地を猛爆
我が荒鷲が十四日大擧して

【香港十五日發同盟】支那筋の報道に依れば我が空軍は十四日大擧して廣西省と廣東省との境界を爲す北江沿岸の英德、韶關、三水、廣州を空襲、市內外諸軍事施設に甘霖の雨を降らす事に午後二時から四時迄の間に亘り猛爆を加へ、更に午後四時から五時迄の間に亘り第二回の空襲を敢行した、時には南飛に際し低空飛行を爲し機關銃を以て掃射を加へ、又一部は廣東省新會縣の大橋を爆破した

夜の空氣（四）
情熱の飛沫
(87)　高見順作　田代光畫



品秀優ぬれ流もにさ暑の亞



★海へ山へ一携帶に最も手輕な整髮料

クッチ頂丹

バリー製に優る國產最高基準品

煉（成法）髮劑（化法）に化學的妙技が秘められてつくられた國產最高の丹頂チックです。この香さにも注意したり、ベトついたりする事絶對ありません。實にサラつとした輕快な感通りです。而も洗つてすぐ落ちる純植物性、特に、夏の整髮料として丹頂チックお歡迎されるのも當然なるみなです。

パーマネント後の御髮人方の髮の御仕上げにも上品な整髮料として愛用されてゐます

丹頂ベルトライン及ポテアパートにあり。

製造元　資本金五百万圓　日本毛髮株式會社

許特賣專　物植純

盟邦から銀翼使節 けさ臺北に安着

二度目の日獨親善飛行

盟邦ナチスから日本を訪れる銀翼使節――ドイツ航空界の巨頭ルフト・ハンザ航空社の代表重役ガブレンツ男爵らの搭乗機は十二分に着港を出発、快調な飛行により一時間を短縮した同十時十分頃早くも新竹方面に差しかかったとの快報に日の丸とハーゲンクロイツ旗で飾られた臺北飛行場も一きはと色めき立ち無線中の觀測裏員長石井臺北市尹、戸水臺北州知事、千葉外事部長、渡邊參事官、日高航空部長、デルレー伊藤忠、エラルド・ワーナー米領事ら下主な文武官民並に臺北市内小公学校兒童二百餘名は、ハーゲンクロイツ旗を手にいて暫し折柄の炎暑を忘れ待ち構へる事一時間餘、やがて定刻より遅れること約十分、西方の眺望圏内に雄姿を現はした、訪日親善機はその銀灰色の巨體に一條の陽光を浴び乍ら滑り込つた、臺北市上空で大きく円を描いた後、同一時四十八分頃の知らせに迎へられて臺北飛行場にその車輪を卸したのである

快翔を續けた

プ機長の談話

臺北飛行場で休憩中プラネール機長は記者團に對し次の如く語つた

香港出發以來良い天候に惠まれお蔭樣で快適な飛行を續けました、香港を出發してから暫くは雲の上を飛んでゐましたが、廣東上空から雲の下に出ましたので地上の景色を眺めながら飛行しました、廈門上空を通過する際には地上から盛んに手を振つてゐるのが見えました、福州上空では雲の切れ目から地上の景色を眺めました、福州上空を過ぎてからは雲の上を飛んでゐましたが、臺北上空に來てから雲の下に出ました、臺北上空から見た臺北の景色は實に美しいものでした、

香港の支那民間に

日華提携論擡頭

續く敗戰に民心離反

七百万円に遡したとされるが當局發表では千万円の臨時公債を募集したのみですから實際の數字は發表に疑はしいものです、日本並の巨額

六百万の臨時軍事費を計上してゐるが、これは日本の臨時軍事費の如く戰爭の進展に伴ひ追加豫算を組むことなく、豫め戰爭の終結を豫想して計上されたものである、

東京指して飛ぶ

今夕は福岡で一泊

新竹で休憩に入り四鳥人を主賓として臨時飛行場會社關係者と共に石井臺北市尹の招待で午餐會を開き一同と會食をとる間に燃料の補給をすつかり濟んだので午後一時九分離陸の聲に送られて臺北飛行場を出發、內地の夕日差して一路福岡に飛び同夜は同所に着陸せず二番機に乘換へて直ちに東京指して飛ぶ豫定である

戰歿勇士の遺族と白衣の勇士を慰問

歸還した石本少將

晴れの歸還をした石本少將は十四日夜を鐵道ホテルに開かれた十五日午前九時より兒玉總督長官の歡迎會內で山本中將を圍み、山岡、水川兩中將、遺族代表者多數の後、同九時半より懇談會、高山、小坂、星成少將並に各分會長戰歿者の各遺族と懇談する

名譽の負傷者

步上　池上　無

步一　大島　秀雄

汎米航空會社の旅客飛行艇墜落

乘客十名乘組員四名死亡

温泉の國營實現か

遊興地化を防ぎ保健に利用

來議會に温泉法を提出

未教育補充兵の訓練は好成績

戰時下に士氣益々旺盛

飛行場で盛んな歡迎

石井市尹から鄭重な辭

熊谷衞生課長逝く

黑田長成侯逝く

福建に和平の叫び

汪氏の放送以來熾烈

新裝の川端公園 開園早々に御難

豪雨禍で園內を荒さる

官有地貸下げの醜聞

新竹州木許技手留置さる

歸途は大場鎭へも

香港の支那民間に

日華提携論擡頭

續く敗戰に民心離反

戰歿勇士の遺族と白衣の勇士を慰問

歸還した石本少將

温泉の國營實現か

遊興地化を防ぎ保健に利用

來議會に温泉法を提出

汎米航空會社の旅客飛行艇墜落

名譽の負傷者

未教育補充兵の訓練は好成績

飛行場で盛んな歡迎

石井市尹から鄭重な辭

熊谷衞生課長逝く

黑田長成侯逝く

福建に和平の叫び

新裝の川端公園 開園早々に御難

官有地貸下げの醜聞

幼年倶樂部 讀んで心も健康兒！
お父樣、お母樣、九月號が出ました！よく學び、よく遊ぶ御褒美にお與へ下さい！
幼年倶樂部 九月號 定價二十五錢
東京寫眞學校
臺日寫眞
書籍 雜誌 醫院 性病科 內地土產 時計眼鏡 寫眞 履物 金融 洋服 藥種商

家庭と婦人

夏涼しく住む工夫

通風に注意すればよい

涼しく夏を暮さうとするには、家の各間にゆつくり空氣の流れることです。日光の射込む所に、ロンズを張つたり、硝子をつくるとか、家に草木を植ゑ、金魚鉢、スダレ、風鈴などを備へることは勿論でもいたしませう。しかし、もつと眞しく工夫するには通風について工夫する必要があります。

我國では、總ての人が日當りの良いといふことを住居選定の第一條件として居りますが、之は人々の全く永い間の經驗から得た結果で万人が期せずして贊同したのであります。

これには深い理由があります。つまり、日當りの良い家と言へば、周圍其他の事情が大體に於て南向でなくてはならないのでありますが、南向の家は夏涼しくて冬暖かであるからであります。これは我國の氣候と季節風とが然らしむるのであります。我國の氣候は歐洲のそれと異り、夏の暑い時は空氣に湿氣が多くて蒸し暑く、日蔭にゐてさへ汗だらだら流れる狀態でありますが、其反對に冬の寒い時は空氣が乾燥して參りますので、寒さが身に沁て寒く感ずるのであります。

結局我國には、暑さ寒さの際に、より多く涼しく、より暖かく感じて居へ切れぬ感じがするのです。この點なわけで我國では、單に、夏日光の直射を避けて室内に入り居れば、涼しいといふだけに止まぬのであります。必ず風通しの良い室に居て、汗を蒸發させてしまふ樣にせねばならぬのであります。そして、夏の季節風は我國では大體西南に定まつてゐますので、各室は成らべく南北に一直線に風の通る樣にせねばならぬのであります。

そこで、室の南面に必ず縁側又は大窓を取り、北面には之に相對して小さな風窓又は窓をとり風通しをよくしますと、どんな蒸し暑い日でも少しばかり風さへあれば涼しく感じます。

日當りについては、かなり注意してゐる住宅でも通風については、あまり考へてない家が多く、從つて、冬は暖かいが、夏は暑くて堪へ切れない家があります。

即ち南だけは開放して日光をよく入れる樣に苦心してあるが、北面に風の流れるべき窓が全然ないものが多くあるのであります。かかる場所には、北側にどんな小さな窓でも良いから風取窓、風抜窓を設けて、室内に空氣の流通を圖ることが必要であります。

それから床下の通風ですが、これは、窓をあける程面倒でなく出來ます。大抵の床下はどこからも風が通らぬやうになつてゐますが、夏だけでも、二ヶ所に通風口をあけることです。かくすることは、衛生的でありますし、涼しくなります。犬や猫の侵入を防ぐため金網か竹で組んでおけばよいでせう。

通風を内部にするため、室の道具を片づけて、隅々とし、なるべく障子をすつかり取はづして、風に時々打てれば、そこから入る風に涼味のあることなども馬鹿に出來ぬものです。

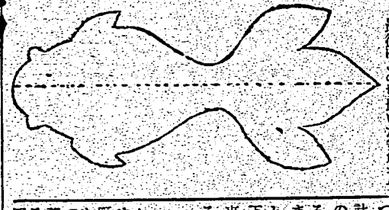
涼しい夏の玩具

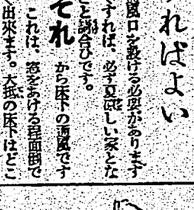
廢物利用の面白いもの

〈繪〉で子供を遊ばせ、晝を過して夫に歸宅する頃まで、思ひきつて、自分の中へ子供を閉じて下さいお晝の土いぢり、水遊び、砂あそびなどは手近な廢物で、海へ山へと出かけなくとも、これで結構愉快が味ふことなるのです。それで戸外遊びにふさはしい玩具を二三個紹介いたしませう、廢物を利用して容易に出來るものです。

卵の殻の金魚　これは卵のからを利用して金魚です。第一圖の樣に卵の中身を出して綺麗の方の一位砂を入れて下さい。これは重りに用ひるのです。圖に紙を二つ折にして第二圖の樣に金魚の型をつけます、最後にこの切抜いた金魚を先に作つておいた卵のから（穴を上にしてかき殻）にはりつけます。それでこの卵の金魚は出來ました、これをたらひか洗面器に入れ、涼しい戸外で金魚屋を、て遊びませう

卵の殻のお舟　もう一つ卵のからを使つてやさしいお舟をつくりませう、先づ卵のからを圖の樣に





分にして下さい、このとき卵のからのふちはきれいにならなともいのです。かつてさぎくのある方が面白いものです。これでお舟の船體はできました、次にこの舟に帆をはりませう、二分位の寶用紙と帆の形に切つた紙を用意して下さい。この三分位の寶用紙をお舟の兩側にはり第二圖の樣に帆柱をたてて下さい。そして次に半紙で切つた帆をこの帆柱にはりつけます。さてこれで卵のお舟が出來ました。前の金魚も一緒にうかべて戸外の涼しい場所で遊びませう

砂時計　藥瓶の樣なガラスの空瓶二つと、それに丁度ふたの出來る樣な紙（又はコルク）栓二分一位のものを用意して下さい。この砂はよくかわいた、そしてフルイにかけて出來るだけ細かいものでなくてはなりません。先づ木栓の眞中に三ツ目ぎりで穴をあけて下さいそして細かい砂を栓の穴と同じ寸法に通します、次によくふるつた砂の中に入れて、木

の栓をかつてください、第四圖の樣にその栓の上にもう一つ空瓶をはめて下さい、さそれで砂時計は出來上りました、この瓶のからの方を下にして御覽なさい、瓶の中の砂は下の瓶の方へ下りてゆくでせう、上の砂が下の方へすつかりゆく時間とそれを反さかさにしてから下へ砂が下りる時間は同じです、次にこの砂時計に目盛をつけて時間を計りませう、先づ時計を見て上の砂が下に落ちさる迄の時間を計つて下さい、何分かかるでせうか、次に砂の一分目にたまつたところ二分目にたまつた所としるしをつけて下さいそれを上下共致します、それですつかり出來上りました、この砂時計で計れる時間内に色々と遊びませう

雜誌紹介

▲婦人畫報（四四）「東亞の戀文物語」「ハンカチ」「ハンカチ」「ハンカチ

魯西亞船

(103)

土師清二作　坪内節太郎畫

造船術(三)

田舟の製圖の個所へ、牛兵衛と繁介が行つて見ると、製圖はすでに上圖一部と打合せしてあると見えて、傳二郎二人を前合せた。傳二郎の取計らひで牛兵衛は、大工道の能役夫に、繁介は鍛冶場の能役夫として入ることになつた。牛兵衛が隣人の造船術を見て、何よりも嬉いたことは用材であつた。

造船台に龍骨を据えて、それに肋材を植つけるといふ、牛兵衛の想像とは凡そ違つたやり方であつた。

傳二郎の家に泊つた兵衛は、繁介と夕飯を食べながら云つた。

「繁さん。嬉いものだよ」

「さうかね」と繁介はぶつきら棒に答へをする。

「ご一緒船を造り、皆様にしらべて貰ふ……」

と牛兵衛は、土方並北の事を思ひ出して、

「あの人に見せてやりたいねぇ」

の人も喜ぶ、船大工だ。一日見せれば……あゝさうかと感心に堪ひないよ」

「馬さん。わしから乳さん(手紙で知らせてやらう」

「手紙を書くのならば、自分も一筆お幸に書きたいと思つたが、そんなことも云へないので。

「戦死に……あつじからもよろしくと書いてやつておくんなさい」

「まあ、いいとも」

牛兵衛は、苦悶して見せた。黒助(繁介)からよろしくとは書けないし、別に一通お幸に手紙をやることもできない。けれど、そこは何とかうまく書いてやつて近江から返事を取り、お幸のことを喜ばせるやうにしてやらう——

牛兵衛の微笑はさう云つてゐるやうであつた。

その夜、牛兵衛は遅くまで手紙を書いてゐた。

翌日になると、牛兵衛は大道へ行き、繁介は鍛冶場へ行つた。未だ仕事は始まつてゐなかつた。

造船台上で、唐人の技師と船大工の頭目そのほか数人が、日本人りまじつて、ズラリと一列にならんで日向ぼつこをしてゐるのであつた。

牛兵衛は下駄きの人たちの間を通つて、

臺灣日日新報
昭和十四年八月十六日（水曜日）
第一萬四千一百五十九號
（一）

再び會談參加如何は
英の全的誠意確認後
歸任した武藤代表談

【電通十五日發同盟】東京を朝發ち午後代表歸任した武藤陸軍少將一行は午後四時二十四分北京着滿鐵ホテルに入つた

我々の目的は現地代表を入れず會談が再開されることにあり尊重が會談に於ける問題自體は現地軍自身が直接行動、治安維持機關の必要に依つて解決せらるべきものであるから現地代表の會談は結局最後の決定に至らぬ訳である、現地代表が再び會談に參加するかどうかといふことは英側が全面的に我が提議を容れ現地軍自身が治安維持上万全なりと認めてゐる事態における會談開催の知らせ其後に同意となるべきものである、何れにしても我々の目的たる日支國交の改正強化するものである

【電通十五日發同盟】十五日の閣議は午前十時半より首相官邸に開會、平沼首相より左の如き報告があつた

【電通十五日發同盟】東京を朝發ち午後代表歸任した武藤陸軍少將一行は午後四時二十四分北京着滿鐵ホテルに入つた

我々の目的は現地代表を入れず會談が再開されることにあり尊重が會談に於ける問題自體は現地軍自身が直接行動、治安維持機關の必要に依つて解決せらるべきものであるから現地代表の會談は結局最後の決定に至らぬ訳である、現地代表が再び會談に參加するかどうかといふことは英側が全面的に我が提議を容れ現地軍自身が治安維持上万全なりと認めてゐる事態における會談開催の知らせ其後に同意となるべきものである、何れにしても我々の目的たる日支國交の改正強化するものである

【電通十五日發同盟】十五日の閣議は午前十時半より首相官邸に開會、平沼首相より左の如き報告があつた

再び會談に參加するかどうかといふことは英側が全面的に我が提議を容れ現地軍自身が治安維持上万全なりと認めてゐる事態における會談開催の知らせ其後に同意となるべきものである、何れにしても我々の目的たる日支國交の改正強化するものである

【電通十五日發同盟】十五日の閣議は午前十時半より首相官邸に開會、平沼首相より左の如き報告があつた

首外陸三相の
意見完全に一致
對歐策處理に關して

【電通十五日發同盟】十五日の閣議後有田外相は首相官邸において平沼首相と會見し、去る八日の五相會議の決定に依つて任ぜられた對歐策處理の具體案に就き外相の手許で作成した案文を提示して首相と打合せを爲し、更に板垣陸相を招いて三相懇談し右外相案を中心として協議の結果三相間の意見完全に一致を見た

【電通十五日發同盟】十五日の閣議後有田外相は首相官邸において平沼首相と會見し、去る八日の五相會議の決定に依つて任ぜられた對歐策處理の具體案に就き外相の手許で作成した案文を提示して首相と打合せを爲し、更に板垣陸相を招いて三相懇談し右外相案を中心として協議の結果三相間の意見完全に一致を見た

撤兵は和平の
先決條件でない
南華日報に汪氏聲明

【香港十五日發同盟】汪精衛氏は十五日の南華日報に談話を公表し左の如き聲明を發表した

和平回復の道程は第一步修好、第二步和平談判、第三步撤兵にある、撤兵は和平の條後の結果であつて和平の先決條件ではない、若し日本軍が完全に中國領内から撤退して了へばそれは既に和平が實現してゐるのであつて、その上何の談判をする必要があるか、今日の問題はいかにすれば和平の實現を促進するかにある、出來るだけ

【香港十五日發同盟】汪精衛氏は十五日の南華日報に談話を公表し左の如き聲明を發表した

和平回復の道程は第一步修好、第二步和平談判、第三步撤兵にある、撤兵は和平の條後の結果であつて和平の先決條件ではない、若し日本軍が完全に中國領内から撤退して了へばそれは既に和平が實現してゐるのであつて、その上何の談判をする必要があるか、今日の問題はいかにすれば和平の實現を促進するかにある、出來るだけ

英現地側狡猾な策動
〝英國退却〟の反響を恐れ

【電通十五日發同盟】當地における英文各新聞の論調は依然強硬な態度を持續してゐるが、英國側の意向を探つたところでは英國政府は必ずしも強硬一點張りではなく、出來るだけ

【電通十五日發同盟】當地における英文各新聞の論調は依然強硬な態度を持續してゐるが、英國側の意向を探つたところでは英國政府は必ずしも強硬一點張りではなく、出來るだけ

鼓浪嶼問題

【電通十五日發同盟】本社支局特報】國際に依れば鼓浪嶼警察會議に於ける問題につき英、米、佛本國政府は現地の本國に變化を來さざる程度に於て出來るだけ速に解決を希望してゐると傳へられるが、英國側ブイツク・モーリス氏、英國會長セーチコアク氏、バーミンガム經濟會長クライン大佐等本國政府では從來の行掛りの關係上、出來るだけ

【電通十五日發同盟】本社支局特報】國際に依れば鼓浪嶼警察會議に於ける問題につき英、米、佛本國政府は現地の本國に變化を來さざる程度に於て出來るだけ速に解決を希望してゐると傳へられるが、英國側ブイツク・モーリス氏、英國會長セーチコアク氏、バーミンガム經濟會長クライン大佐等本國政府では從來の行掛りの關係上、出來るだけ

樹林召で大敵撃破
増水の大黄河を渡河

【包頭十五日發同盟】我が皇軍の現地軍は、黄河北岸地區に殘留せる敵軍を撃滅せんとして、目下猛烈なる掃蕩作戰を續行中であるが、八月十五日午後、樹林召東北方地區に於て、敵の有力なる騎兵部隊と遭遇し、激戰數時間に及びたるも、我が軍は敵を壓倒して、これを撃破し、更に敵の退路を遮斷すべく、急速渡河を敢行し、十六日午前、黄河を渡河し、

本島米穀現在高
二百卅八萬三千石
昨年より五十萬石の著減

米穀調整委本島における昭和十四年八月一日米穀現在高は調査二百二十八萬三千五百二十二石にして之を前年同期の二、八八八、七二一九石に比すれば五〇五、一九七石（二七㌫五）の減少を示したが之の減少を來した原因は本年二作の減收に基くことは勿論であるが更に北部地方における刈取過期に因るものと考へられる

我が島内の需給別に示せば次の通りである

	昭和十四年八月一日	即年比較（▲印減）
臺灣米	二、三八三、〇一九	▲五〇五、二三九
同 籾	一、三三五、九八四	▲四〇〇、九六八
在來糯米	九三四、四六六	▲一二二、五三三
丸糯米	七四、八四八	▲一八、四六四
其の他	三七、七二二	▲二、二〇二
內地米	五〇三	四二
朝鮮米	一	一
外國米	一	一
合計	二、三八三、五二三	▲五〇五、一九七

前期産糖種類別
白糖は四分の三が双目
分蜜三溫は僅に五萬擔

日本糖業聯合會調査、昭和十四年度九會社の上半期（四年期）產糖調べによると總產額二千二百八十九萬八千七百九十六擔の內訳は

	即年比較（▲印減）
粗糖（一種（車糖））	六、三三二、三五四	▲一、三二二、三五二
同（二種（車糖））	二、三三二、三五二	▲一、三二二、三五二
同（三種（車糖））	七三二、三五二	▲一、三二二、三五二
同 其 他	二、四六二、五五二	▲一、三二二、三五二
同 小計	一四、六六二、三五二	▲一、三二二、三五二
白糖（四溫）	一二、六六二、五五二	▲一、三二二、三五二
同（車糖（四溫））	一、三三二、三五二	▲一、三二二、三五二
白糖小計	一三、六六二、五五二	▲一、三二二、三五二
合計	二八、六六二、五五二	▲一、三二二、三五二

右の內、糖に關するもの四百五十四万九千四百擔にして他は双目であり、就中二種糖の中に車糖と三種糖が僅に五万擔に過ぎないことは作年に比し一層世の歡ありと云ふ可きである

又臺地白糖も已往が四分の三を占めてゐることは需要者の嗜好もさることゝ共に地目糖の特質が依然強度の高い白双にあることを物語るに足るべく五十万人位迄を以てする四雙（白車糖）の需要と言ふ處があり同糖四雙の風聞といふこと

國立公園と高砂犬

生蕃犬を保護せよ

宮本佐市

犬までも喰つて食用改良とやらをしなければならないと云ふ頑迷な一部支那の民族は往時に於ける其の野蛮と犬との關係がどんなであつたか知る由もないが、歐洲、殊に英國を初めとして世界何れの民族を見ても犬を待たない、民族はない、人類野蛮時代に於ける犬の役割は相當大きなものであつたばかりの形に於ては如く狩獵時代の人達の傍には必ず犬が伴つたのである、從つて當時に於ける人犬の親和振りは到底今日の比ではなかつたであらう

私共は今日其の一端の影を北海道のアイヌ族とアイヌ犬、台灣の高砂族と高砂犬に就いてもこれを見ることが出來る訳である、一般に台灣の地犬を蕃狗犬と稱してゐるが私は常に高砂犬と言つてゐるので茲題にもそれを選んだ次第である

台灣に於ける高砂族は一般同仁の御親鑑の下に日本人としての脈來に向つてぐん〳〵伸びて行く時候等の好伴侶であつた蕃犬、蕃僕な助手であつた高砂犬は其の大部分が漢人種の交雜によつて吉來その面影を失ひ、其の純血種は既に絶滅せんとしてゐる狀態である

茲で行く犬種の現況を知る爲め族もないではないから、が現存數に依ると二三百頭も飼育されてゐる土地の蕃犬が古來の純血を保有するものは數頭に過ぎないと云ふ狀態である、人類に次く動物であつた犬の純血が斯くこと申す迄もないが、現狀を放任する時は過去數年を出でずして台灣の自然だけでも彼の高砂犬の風貌を保存保護したいものだと常に感じてゐる者である

筆者は曾つて日本アルプス山麓の一山村で溪流の水を飲んでゐた柴犬を呼び、返つて吠えつかれたことがあるが、犬好きだけに其の自然に對する敏感に其の性に感ぜられた證左の記念を忘れることが出來ない

それにひきかへ台灣の深山部落を訪れて黒白共、野生の獵獸犬などを發見すると實に犬臭さを感じられる小さな島に急激な犬化が注入されたのであるから無理はないが、これより以上に人間の不注意に因つて醸成された美しい自然の傳統があるだらうか

元來國立公園と称する地帶の自然を構成する山川草木鳥獸は主に人の間から、日本のあらゆる方面にたゝかう者だと言つて差支ないが、それで、どういふこともなく結局は例によつて有無無能になつてゐる形である

筆者も當時は、日本主義者の一人と自されて（もつとも今だつてさうであるが）大分西洋連中から叩かれた。むろん、こちらが先に叩いたのであるから、叩かれたのは當然の日本主義者と呼ばれる人々の間に不思議はなかつたのだが、いま考へると、當時の仕方が少し拙劣であつたものと今り方があつたと思ふ。しかし、さう思ふと同時に、戰慄する氣かしくなつてしまつた。

×

だが此の問題は、その後も依然として筆者の中心問題として止つてゐる。そして折に觸れて特別にそれへの關心がかき立てられる何もか我獨斷で行かなくてはいかんと言ふのではない。もつと一般の見識があつてもよいではないかと思はせられるやうな機會が多いのである

いつだつたか、女の子たちが西洋人の尻を追ひ廻して、大分問題を起したことがあつたと記憶するところが近頃ある友人から聞いた話では、今でも彼女の間に於る西洋人崇拜は依然たるものらしい大體、女の化粧の仕方や服裝の流行などを觀めてゐても、大方さうだらうとは推察されるのだが、どうも紅毛碧眼の人と見ると一體に愛嬌になるといふのが、一般の病氣らしい。無節操な話だと言つてしまへばそれまでだが、更に角私にはこれが感傷的な氣味を帶びて映るのである。

×

それが善い惡いはしばらく措くとしても、學者にせよ藝術家にせよ、古來西洋の文化の方が日本の文化より高尚だと思ひ込んでゐる人が多いことは事實である。

日本にカントのやうな偉い哲學者がゐるとか、シニクスピアのやうな偉大な百科があつたかなどと異議して話の腰を折る。この頃では道元の傳えや家氏物語の偉大さなどが大分三さんされはじめたが、素行や芭蕉の價値などはまだまだ知らうともしない。

西洋崇拜もいいが、自家の寶當な遺産を自己に正しく認識しようともしないのは、實に遺憾な事である。

色々澤があるので、あまり良い氣持もしない。ゆつくりした氣持になれない。一晩とまつて泰天へ行かれる駅へ向はうとすると、万国橋からゆくのは夜分は感激だから日本橋を通つて、イタリー料理を喫けて行けといはれてゐる。

かうして美術などの北支の「世界」が明瞭化をかくといふ言葉が實感をもつてひしひしと身にたへた。そして、それまで感激自重してきた日本の態度だ、もうやりきれないと言ふ點にきたことをはつきり知つた。それと共に百年前の北支の「世界」の態度をも、眼のあたりに見る思ひがした。

ただただしい一日であつたが、天津へついたことは、吾にとつて大きい收穫であつた。

支那事變の背後

福田清人

五十日の大陸旅行で、北京から天津についたのは、六月の六日であつた。檢閲、英國の國事から、期限つきの回答を二日早く、それも夜によつては待つきりしない返事をよこした日に於つかつた。それが今度の封鎖の重要の動機となつた日であつた。

北京の市内は、街が美しい、行人も存ん氣に歩いてゐるし、日本人と支那人と時計一時間ちがつてゐる位が、なにか変な印象を與へる位のものであつた。

警察は駅が二十さがしい程度で少くとも城内はひとくおだやかで區いまの城壁の外の北支の狀態がどう進行してゐるか想像できぬ程けさであつたが、天津にきて、事変色が濃いのをつと感じた。

それまで歩いてきた滿洲は言はずもがな、北邊の牛莊に近い營口地帶でも、日本人は大手をふつて歩けた。ところが天津へくると、さうはいかない。夜分、フランス租界へ入ろうとすると、支那の巡警が、言葉は通じぬから、なんと言つてゐるのか判らんが、何とか注意めいたものを與へて、うるさいから引返した。しかも向ふは日本語がよりにぎやかで、光もあかるか、光つて人通りさへ多いのだそこの中には何百旦も山居にかくれてしまつた時分百貨店の裸が大きな窓に通用してゐると云ふ。そして、中国際を通行の裸はいかんといふ。變になつて入つてみたが裏通りの日本主義者と呼ばれるに不思議はなかつたのだが、いま考へると、當時の仕方が少し拙劣であつたものと今り方があつたと思ふ。しかし、さう思ふと同時に、戰慄する氣かしくなつてしまつた。

×

だが此の問題は、その後も依然として筆者の中心問題として止つてゐる。そして折に觸れて特別にそれへの關心がかき立てられる何もか我獨斷で行かなくてはいかんと言ふのではない。もつと一般の見識があつてもよいではないかと思はせられるやうな機會が多いのである

いつだつたか、女の子たちが西洋人の尻を追ひ廻して、大分問題を起したことがあつたと記憶するところが近頃ある友人から聞いた話では、今でも彼女の間に於る西洋人崇拜は依然たるものらしい大體、女の化粧の仕方や服裝の流行などを觀めてゐても、大方さうだらうとは推察されるのだが、どうも紅毛碧眼の人と見ると一體に愛嬌になるといふのが、一般の病氣らしい。無節操な話だと言つてしまへばそれまでだが、更に角私にはこれが感傷的な氣味を帶びて映るのである。

×

それが善い惡いはしばらく措くとしても、學者にせよ藝術家にせよ、古來西洋の文化の方が日本の文化より高尚だと思ひ込んでゐる人が多いことは事實である。

日本にカントのやうな偉い哲學者がゐるとか、シニクスピアのやうな偉大な百科があつたかなどと異議して話の腰を折る。この頃では道元の傳えや家氏物語の偉大さなどが大分三さんされはじめたが、素行や芭蕉の價値などはまだまだ知らうともしない。

西洋崇拜もいいが、自家の寶當な遺産を自己に正しく認識しようともしないのは、實に遺憾な事である。

西洋崇拜

漆野晃

佛領印度支那の軍擴を實施

佛國政府は過般のシンガポール英佛海軍會議の結果に基き佛領印度支那の平時態化を圖ることとなりこれが經費として昭和十四年度に於ては元四百萬弗を計上し八月末迄にはそれぞれ配備を終る豫定である、而してこれに要する經費四億フランは地方軍事公債、新地方費の發行に依つて支拂せられる外前年度剩餘金の中からも一部が此の目的のために支出せられることになつてゐる。

早稲田大學校外生募集講義錄

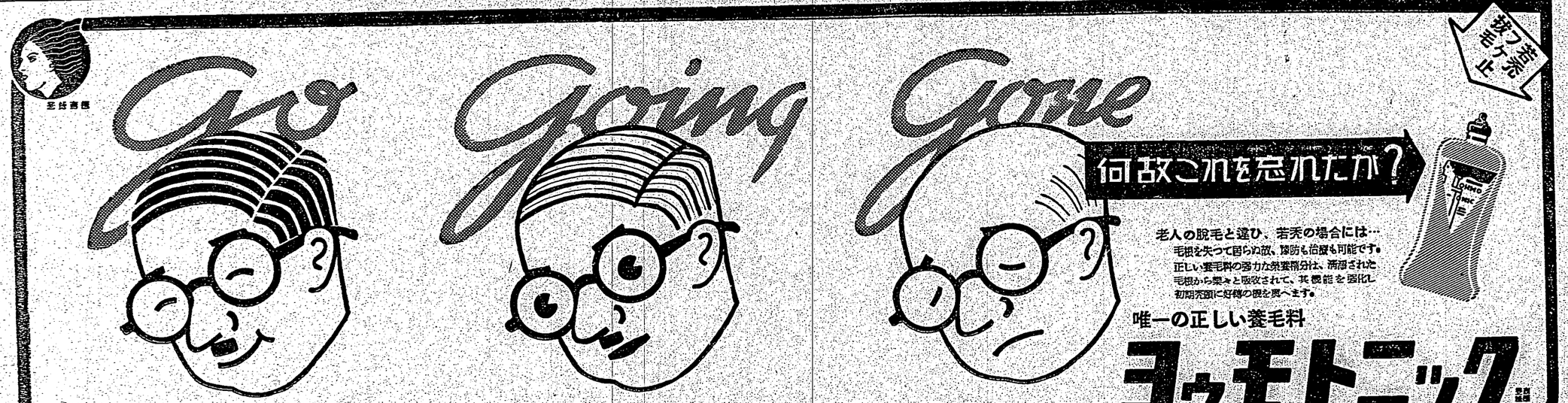
でのるれさ成達てめ始てつ校を力の来大年者・は設建の亜東新此殊・るあで資至の家國よ擔を代次は年青
。いたき頂てめ努に成養の力實に劍眞そこ今・てし覺自を性大重の務責きべよ擔てがやは君語・らかるあ
。すなを導指の全萬うやるめしせ得を力學ぬら劣に育教校學も此人何・し迎待てしと生外校て總は者學入

（とてじ込申く直でキガバてい書を錄義講のみ望ず必は本見容內）。したれら知りよに本見容內は細詳

中學講義	一月	政治經濟講義	一月
商業講義	一月	法律講義	一月
高等女學講義	一月	文學講義	一月
建築講義	一月	電氣工學講義	一月
電氣工學講義	一月	電氣工學講義	一月

東京・牛込・早稲田

早稲田大學出版部



（定價）小〒1.45 大〒2.45 御用〒6.30外に百貨店型あり。三共株式會社製造發賣◆總販賣元 東京室町三共ビル 壽昌製藥株式會社◆★無 代 進 呈 中川研究所士の「若禿の新豫防法」

空に残れる

尾崎士郎作　(85)

（其十四）

高木清畫

「すると本郷さんは、銘酒をやってるんですか？」

「あら、銘酒どころじゃないわ――この頃の会社に勤めてるひとで内緒に酒をやってないひとなんかほとんどないといふなしよ、主任さんだの部長さんだのって、とても大へんな連中なんですって」

「つやゝあ、おとしそうに見るのは芸術だけなんだね」

「ざうとも限らないわ、おとなしい方だってゝゝ思ひきったことをする人はすゝめられやしないわよ――何しろ酒豪が安全なんですもの」

2

「さうかなア」

信作がつゝやくやうな声をもらした。彼は金を得るために誰々と一緒に仕事をしなければならないといふ事実を変へて歩いてゐるしくみなこれ程迄に支配はれると、それは最少限度の欲求をみたさんがために、望むすれば、その日その日の飯を三度でなくともせめて二度は食べたいといふ欲求のためなのだ。

しかし、今、彼の前に突然としてひらけてきた世界では、その日その日の飯のために金を問題にすることは愚の骨頂だといふことをかんじ、それをかんじ、ふと今までの自分の生活の中にひそんでゐる卑しい秘密を暴く鬼もそのへんにおりさうな気がしてきたのである。

一科學小一話一

米国某医学研究所長官の談によれば、蚊の生産コストの八五パーセントは、蚊数や蚊型に関係なくみなこれ設備に支拂はれるとの事。

×　×

工業製品の検査に用ひられる又線はアスベストなどに使ふ五十ボルト程度のものから鋼鉄を溶す六万ボルト線までいろ〳〵ある。

ラヂオ

朝
【六・二〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、朝の音楽レコード演奏（コロンビア）クラシック五二五
【七・〇〇】ニュース（東京）
【七・一〇】ラヂオ・ガイド（東京）
【七・二〇】ラヂオ・ガイド（大阪）
【七・四〇】ニュース（東京）
【八・〇〇】ニュース（大阪）
【八・一〇】ラヂオ體操（大阪）
【八・二〇】朝の音楽（大阪）
【八・四〇】ニュース（大阪）
【九・〇〇】ニュース（東京）
【九・一〇】ラヂオ體操（東京）
【九・二〇】朝の音楽（東京）
【九・四〇】講演（東京）朝鮮問題の推移：國際特別市市長李鍾聲（通訳附）
【一〇・〇〇】ニュース（大阪）
【一〇・一〇】放送局報告（大阪）
【一〇・二〇】ニュース、新聞記事紹介、公示事項告知、局報、明日の放送番組（大阪）
【一〇・五〇】英語ニュース（東京）
【一一・〇〇】北京語ニュース（東京）
【一一・二〇】馬來語ニュース（東京）
【一一・五〇】國語ニュース（東京）

書
【一二・一〇】農事講話（東京）
【一二・一五】正午の時報（東京）次に放送番組（各局）
【一二・一〇】實用模型時間（レコード）飛行中主事者指導（東京）
【一二・三〇】ニュース（東京）
【一二・四〇】ニュース（大阪）
【一二・五〇】ニュース（東京）
【一三・〇〇】ニュース（大阪）
【一三・一〇】ニュース（東京）
【一三・二〇】ニュース（大阪）
【一三・三〇】ニュース（東京）
【一三・四〇】ニュース（大阪）
【一三・五〇】ニュース（東京）
【一四・〇〇】ニュース（大阪）
【一四・一〇】ニュース（東京）
【一四・二〇】ニュース（大阪）
【一四・三〇】ニュース（東京）
【一四・四〇】ニュース（大阪）
【一四・五〇】ニュース（東京）
【一五・〇〇】ニュース（大阪）
【一五・一〇】ニュース（東京）
【一五・二〇】ニュース（大阪）
【一五・三〇】ニュース（東京）
【一五・四〇】ニュース（大阪）
【一五・五〇】ニュース（東京）
【一六・〇〇】ニュース（大阪）
【一六・一〇】ニュース（東京）
【一六・二〇】ニュース（大阪）
【一六・三〇】ニュース（東京）
【一六・四〇】ニュース（大阪）
【一六・五〇】ニュース（東京）
【一七・〇〇】ニュース（大阪）
【一七・一〇】ニュース（東京）
【一七・二〇】ニュース（大阪）
【一七・三〇】ニュース（東京）
【一七・四〇】ニュース（大阪）
【一七・五〇】ニュース（東京）
【一八・〇〇】ニュース（大阪）
【一八・一〇】ニュース（東京）
【一八・二〇】ニュース（大阪）
【一八・三〇】ニュース（東京）
【一八・四〇】ニュース（大阪）
【一八・五〇】ニュース（東京）
【一九・〇〇】ニュース（大阪）
【一九・一〇】ニュース（東京）
【一九・二〇】ニュース（大阪）
【一九・三〇】ニュース（東京）
【一九・四〇】ニュース（大阪）
【一九・五〇】ニュース（東京）
【二〇・〇〇】ニュース（大阪）
【二〇・一〇】ニュース（東京）
【二〇・二〇】ニュース（大阪）
【二〇・三〇】ニュース（東京）
【二〇・四〇】ニュース（大阪）
【二〇・五〇】ニュース（東京）
【二一・〇〇】ニュース（大阪）
【二一・一〇】ニュース（東京）
【二一・二〇】ニュース（大阪）
【二一・三〇】ニュース（東京）
【二一・四〇】ニュース（大阪）
【二一・五〇】ニュース（東京）
【二二・〇〇】ニュース（大阪）
【二二・一〇】ニュース（東京）
【二二・二〇】ニュース（大阪）
【二二・三〇】ニュース（東京）
【二二・四〇】ニュース（大阪）
【二二・五〇】ニュース（東京）
【二三・〇〇】ニュース（大阪）
【二三・一〇】ニュース（東京）
【二三・二〇】ニュース（大阪）
【二三・三〇】ニュース（東京）
【二三・四〇】ニュース（大阪）
【二三・五〇】ニュース（東京）
【二四・〇〇】ニュース（大阪）
【二四・一〇】ニュース（東京）
【二四・二〇】ニュース（大阪）
【二四・三〇】ニュース（東京）
【二四・四〇】ニュース（大阪）
【二四・五〇】ニュース（東京）
【二五・〇〇】ニュース（大阪）
【二五・一〇】ニュース（東京）
【二五・二〇】ニュース（大阪）
【二五・三〇】ニュース（東京）
【二五・四〇】ニュース（大阪）
【二五・五〇】ニュース（東京）
【二六・〇〇】ニュース（大阪）
【二六・一〇】ニュース（東京）
【二六・二〇】ニュース（大阪）
【二六・三〇】ニュース（東京）
【二六・四〇】ニュース（大阪）
【二六・五〇】ニュース（東京）
【二七・〇〇】ニュース（大阪）
【二七・一〇】ニュース（東京）
【二七・二〇】ニュース（大阪）
【二七・三〇】ニュース（東京）
【二七・四〇】ニュース（大阪）
【二七・五〇】ニュース（東京）
【二八・〇〇】ニュース（大阪）
【二八・一〇】ニュース（東京）
【二八・二〇】ニュース（大阪）
【二八・三〇】ニュース（東京）
【二八・四〇】ニュース（大阪）
【二八・五〇】ニュース（東京）
【二九・〇〇】ニュース（大阪）
【二九・一〇】ニュース（東京）
【二九・二〇】ニュース（大阪）
【二九・三〇】ニュース（東京）
【二九・四〇】ニュース（大阪）
【二九・五〇】ニュース（東京）
【三〇・〇〇】ニュース（大阪）
【三〇・一〇】ニュース（東京）
【三〇・二〇】ニュース（大阪）
【三〇・三〇】ニュース（東京）
【三〇・四〇】ニュース（大阪）
【三〇・五〇】ニュース（東京）
【三一・〇〇】ニュース（大阪）
【三一・一〇】ニュース（東京）
【三一・二〇】ニュース（大阪）
【三一・三〇】ニュース（東京）
【三一・四〇】ニュース（大阪）
【三一・五〇】ニュース（東京）
【三二・〇〇】ニュース（大阪）
【三二・一〇】ニュース（東京）
【三二・二〇】ニュース（大阪）
【三二・三〇】ニュース（東京）
【三二・四〇】ニュース（大阪）
【三二・五〇】ニュース（東京）
【三三・〇〇】ニュース（大阪）
【三三・一〇】ニュース（東京）
【三三・二〇】ニュース（大阪）
【三三・三〇】ニュース（東京）
【三三・四〇】ニュース（大阪）
【三三・五〇】ニュース（東京）
【三四・〇〇】ニュース（大阪）
【三四・一〇】ニュース（東京）
【三四・二〇】ニュース（大阪）
【三四・三〇】ニュース（東京）
【三四・四〇】ニュース（大阪）
【三四・五〇】ニュース（東京）
【三五・〇〇】ニュース（大阪）
【三五・一〇】ニュース（東京）
【三五・二〇】ニュース（大阪）
【三五・三〇】ニュース（東京）
【三五・四〇】ニュース（大阪）
【三五・五〇】ニュース（東京）
【三六・〇〇】ニュース（大阪）
【三六・一〇】ニュース（東京）
【三六・二〇】ニュース（大阪）
【三六・三〇】ニュース（東京）
【三六・四〇】ニュース（大阪）
【三六・五〇】ニュース（東京）
【三七・〇〇】ニュース（大阪）
【三七・一〇】ニュース（東京）
【三七・二〇】ニュース（大阪）
【三七・三〇】ニュース（東京）
【三七・四〇】ニュース（大阪）
【三七・五〇】ニュース（東京）
【三八・〇〇】ニュース（大阪）
【三八・一〇】ニュース（東京）
【三八・二〇】ニュース（大阪）
【三八・三〇】ニュース（東京）
【三八・四〇】ニュース（大阪）
【三八・五〇】ニュース（東京）
【三九・〇〇】ニュース（大阪）
【三九・一〇】ニュース（東京）
【三九・二〇】ニュース（大阪）
【三九・三〇】ニュース（東京）
【三九・四〇】ニュース（大阪）
【三九・五〇】ニュース（東京）
【四〇・〇〇】ニュース（大阪）
【四〇・一〇】ニュース（東京）
【四〇・二〇】ニュース（大阪）
【四〇・三〇】ニュース（東京）
【四〇・四〇】ニュース（大阪）
【四〇・五〇】ニュース（東京）
【四一・〇〇】ニュース（大阪）
【四一・一〇】ニュース（東京）
【四一・二〇】ニュース（大阪）
【四一・三〇】ニュース（東京）
【四一・四〇】ニュース（大阪）
【四一・五〇】ニュース（東京）
【四二・〇〇】ニュース（大阪）
【四二・一〇】ニュース（東京）
【四二・二〇】ニュース（大阪）
【四二・三〇】ニュース（東京）
【四二・四〇】ニュース（大阪）
【四二・五〇】ニュース（東京）
【四三・〇〇】ニュース（大阪）
【四三・一〇】ニュース（東京）
【四三・二〇】ニュース（大阪）
【四三・三〇】ニュース（東京）
【四三・四〇】ニュース（大阪）
【四三・五〇】ニュース（東京）
【四四・〇〇】ニュース（大阪）
【四四・一〇】ニュース（東京）
【四四・二〇】ニュース（大阪）
【四四・三〇】ニュース（東京）
【四四・四〇】ニュース（大阪）
【四四・五〇】ニュース（東京）
【四五・〇〇】ニュース（大阪）
【四五・一〇】ニュース（東京）
【四五・二〇】ニュース（大阪）
【四五・三〇】ニュース（東京）
【四五・四〇】ニュース（大阪）
【四五・五〇】ニュース（東京）
【四六・〇〇】ニュース（大阪）
【四六・一〇】ニュース（東京）
【四六・二〇】ニュース（大阪）
【四六・三〇】ニュース（東京）
【四六・四〇】ニュース（大阪）
【四六・五〇】ニュース（東京）
【四七・〇〇】ニュース（大阪）
【四七・一〇】ニュース（東京）
【四七・二〇】ニュース（大阪）
【四七・三〇】ニュース（東京）
【四七・四〇】ニュース（大阪）
【四七・五〇】ニュース（東京）
【四八・〇〇】ニュース（大阪）
【四八・一〇】ニュース（東京）
【四八・二〇】ニュース（大阪）
【四八・三〇】ニュース（東京）
【四八・四〇】ニュース（大阪）
【四八・五〇】ニュース（東京）
【四九・〇〇】ニュース（大阪）
【四九・一〇】ニュース（東京）
【四九・二〇】ニュース（大阪）
【四九・三〇】ニュース（東京）
【四九・四〇】ニュース（大阪）
【四九・五〇】ニュース（東京）
【五〇・〇〇】ニュース（大阪）
【五〇・一〇】ニュース（東京）
【五〇・二〇】ニュース（大阪）
【五〇・三〇】ニュース（東京）
【五〇・四〇】ニュース（大阪）
【五〇・五〇】ニュース（東京）
【五一・〇〇】ニュース（大阪）
【五一・一〇】ニュース（東京）
【五一・二〇】ニュース（大阪）
【五一・三〇】ニュース（東京）
【五一・四〇】ニュース（大阪）
【五一・五〇】ニュース（東京）
【五二・〇〇】ニュース（大阪）
【五二・一〇】ニュース（東京）
【五二・二〇】ニュース（大阪）
【五二・三〇】ニュース（東京）
【五二・四〇】ニュース（大阪）
【五二・五〇】ニュース（東京）
【五三・〇〇】ニュース（大阪）
【五三・一〇】ニュース（東京）
【五三・二〇】ニュース（大阪）
【五三・三〇】ニュース（東京）
【五三・四〇】ニュース（大阪）
【五三・五〇】ニュース（東京）
【五四・〇〇】ニュース（大阪）
【五四・一〇】ニュース（東京）
【五四・二〇】ニュース（大阪）
【五四・三〇】ニュース（東京）
【五四・四〇】ニュース（大阪）
【五四・五〇】ニュース（東京）
【五五・〇〇】ニュース（大阪）
【五五・一〇】ニュース（東京）
【五五・二〇】ニュース（大阪）
【五五・三〇】ニュース（東京）
【五五・四〇】ニュース（大阪）
【五五・五〇】ニュース（東京）
【五六・〇〇】ニュース（大阪）
【五六・一〇】ニュース（東京）
【五六・二〇】ニュース（大阪）
【五六・三〇】ニュース（東京）
【五六・四〇】ニュース（大阪）
【五六・五〇】ニュース（東京）
【五七・〇〇】ニュース（大阪）
【五七・一〇】ニュース（東京）
【五七・二〇】ニュース（大阪）
【五七・三〇】ニュース（東京）
【五七・四〇】ニュース（大阪）
【五七・五〇】ニュース（東京）
【五八・〇〇】ニュース（大阪）
【五八・一〇】ニュース（東京）
【五八・二〇】ニュース（大阪）
【五八・三〇】ニュース（東京）
【五八・四〇】ニュース（大阪）
【五八・五〇】ニュース（東京）
【五九・〇〇】ニュース（大阪）
【五九・一〇】ニュース（東京）
【五九・二〇】ニュース（大阪）
【五九・三〇】ニュース（東京）
【五九・四〇】ニュース（大阪）
【五九・五〇】ニュース（東京）
【六〇・〇〇】ニュース（大阪）
【六〇・一〇】ニュース（東京）
【六〇・二〇】ニュース（大阪）
【六〇・三〇】ニュース（東京）
【六〇・四〇】ニュース（大阪）
【六〇・五〇】ニュース（東京）
【六一・〇〇】ニュース（大阪）
【六一・一〇】ニュース（東京）
【六一・二〇】ニュース（大阪）
【六一・三〇】ニュース（東京）
【六一・四〇】ニュース（大阪）
【六一・五〇】ニュース（東京）
【六二・〇〇】ニュース（大阪）
【六二・一〇】ニュース（東京）
【六二・二〇】ニュース（大阪）
【六二・三〇】ニュース（東京）
【六二・四〇】ニュース（大阪）
【六二・五〇】ニュース（東京）
【六三・〇〇】ニュース（大阪）
【六三・一〇】ニュース（東京）
【六三・二〇】ニュース（大阪）
【六三・三〇】ニュース（東京）
【六三・四〇】ニュース（大阪）
【六三・五〇】ニュース（東京）
【六四・〇〇】ニュース（大阪）
【六四・一〇】ニュース（東京）
【六四・二〇】ニュース（大阪）
【六四・三〇】ニュース（東京）
【六四・四〇】ニュース（大阪）
【六四・五〇】ニュース（東京）
【六五・〇〇】ニュース（大阪）
【六五・一〇】ニュース（東京）
【六五・二〇】ニュース（大阪）
【六五・三〇】ニュース（東京）
【六五・四〇】ニュース（大阪）
【六五・五〇】ニュース（東京）
【六六・〇〇】ニュース（大阪）
【六六・一〇】ニュース（東京）
【六六・二〇】ニュース（大阪）
【六六・三〇】ニュース（東京）
【六六・四〇】ニュース（大阪）
【六六・五〇】ニュース（東京）
【六七・〇〇】ニュース（大阪）
【六七・一〇】ニュース（東京）
【六七・二〇】ニュース（大阪）
【六七・三〇】ニュース（東京）
【六七・四〇】ニュース（大阪）
【六七・五〇】ニュース（東京）
【六八・〇〇】ニュース（大阪）
【六八・一〇】ニュース（東京）
【六八・二〇】ニュース（大阪）
【六八・三〇】ニュース（東京）
【六八・四〇】ニュース（大阪）
【六八・五〇】ニュース（東京）
【六九・〇〇】ニュース（大阪）
【六九・一〇】ニュース（東京）
【六九・二〇】ニュース（大阪）
【六九・三〇】ニュース（東京）
【六九・四〇】ニュース（大阪）
【六九・五〇】ニュース（東京）
【七〇・〇〇】ニュース（大阪）
【七〇・一〇】ニュース（東京）
【七〇・二〇】ニュース（大阪）
【七〇・三〇】ニュース（東京）
【七〇・四〇】ニュース（大阪）
【七〇・五〇】ニュース（東京）
【七一・〇〇】ニュース（大阪）
【七一・一〇】ニュース（東京）
【七一・二〇】ニュース（大阪）
【七一・三〇】ニュース（東京）
【七一・四〇】ニュース（大阪）
【七一・五〇】ニュース（東京）
【七二・〇〇】ニュース（大阪）
【七二・一〇】ニュース（東京）
【七二・二〇】ニュース（大阪）
【七二・三〇】ニュース（東京）
【七二・四〇】ニュース（大阪）
【七二・五〇】ニュース（東京）
【七三・〇〇】ニュース（大阪）
【七三・一〇】ニュース（東京）
【七三・二〇】ニュース（大阪）
【七三・三〇】ニュース（東京）
【七三・四〇】ニュース（大阪）
【七三・五〇】ニュース（東京）
【七四・〇〇】ニュース（大阪）
【七四・一〇】ニュース（東京）
【七四・二〇】ニュース（大阪）
【七四・三〇】ニュース（東京）
【七四・四〇】ニュース（大阪）
【七四・五〇】ニュース（東京）
【七五・〇〇】ニュース（大阪）
【七五・一〇】ニュース（東京）
【七五・二〇】ニュース（大阪）
【七五・三〇】ニュース（東京）
【七五・四〇】ニュース（大阪）
【七五・五〇】ニュース（東京）
【七六・〇〇】ニュース（大阪）
【七六・一〇】ニュース（東京）
【七六・二〇】ニュース（大阪）
【七六・三〇】ニュース（東京）
【七六・四〇】ニュース（大阪）
【七六・五〇】ニュース（東京）
【七七・〇〇】ニュース（大阪）
【七七・一〇】ニュース（東京）
【七七・二〇】ニュース（大阪）
【七七・三〇】ニュース（東京）
【七七・四〇】ニュース（大阪）
【七七・五〇】ニュース（東京）
【七八・〇〇】ニュース（大阪）
【七八・一〇】ニュース（東京）
【七八・二〇】ニュース（大阪）
【七八・三〇】ニュース（東京）
【七八・四〇】ニュース（大阪）
【七八・五〇】ニュース（東京）
【七九・〇〇】ニュース（大阪）
【七九・一〇】ニュース（東京）
【七九・二〇】ニュース（大阪）
【七九・三〇】ニュース（東京）
【七九・四〇】ニュース（大阪）
【七九・五〇】ニュース（東京）
【八〇・〇〇】ニュース（大阪）
【八〇・一〇】ニュース（東京）
【八〇・二〇】ニュース（大阪）
【八〇・三〇】ニュース（東京）
【八〇・四〇】ニュース（大阪）
【八〇・五〇】ニュース（東京）
【八一・〇〇】ニュース（大阪）
【八一・一〇】ニュース（東京）
【八一・二〇】ニュース（大阪）
【八一・三〇】ニュース（東京）
【八一・四〇】ニュース（大阪）
【八一・五〇】ニュース（東京）
【八二・〇〇】ニュース（大阪）
【八二・一〇】ニュース（東京）
【八二・二〇】ニュース（大阪）
【八二・三〇】ニュース（東京）
【八二・四〇】ニュース（大阪）
【八二・五〇】ニュース（東京）
【八三・〇〇】ニュース（大阪）
【八三・一〇】ニュース（東京）
【八三・二〇】ニュース（大阪）
【八三・三〇】ニュース（東京）
【八三・四〇】ニュース（大阪）
【八三・五〇】ニュース（東京）
【八四・〇〇】ニュース（大阪）
【八四・一〇】ニュース（東京）
【八四・二〇】ニュース（大阪）
【八四・三〇】ニュース（東京）
【八四・四〇】ニュース（大阪）
【八四・五〇】ニュース（東京）
【八五・〇〇】ニュース（大阪）
【八五・一〇】ニュース（東京）
【八五・二〇】ニュース（大阪）
【八五・三〇】ニュース（東京）
【八五・四〇】ニュース（大阪）
【八五・五〇】ニュース（東京）
【八六・〇〇】ニュース（大阪）
【八六・一〇】ニュース（東京）
【八六・二〇】ニュース（大阪）
【八六・三〇】ニュース（東京）
【八六・四〇】ニュース（大阪）
【八六・五〇】ニュース（東京）
【八七・〇〇】ニュース（大阪）
【八七・一〇】ニュース（東京）
【八七・二〇】ニュース（大阪）
【八七・三〇】ニュース（東京）
【八七・四〇】ニュース（大阪）
【八七・五〇】ニュース（東京）
【八八・〇〇】ニュース（大阪）
【八八・一〇】ニュース（東京）
【八八・二〇】ニュース（大阪）
【八八・三〇】ニュース（東京）
【八八・四〇】ニュース（大阪）
【八八・五〇】ニュース（東京）
【八九・〇〇】ニュース（大阪）
【八九・一〇】ニュース（東京）
【八九・二〇】ニュース（大阪）
【八九・三〇】ニュース（東京）
【八九・四〇】ニュース（大阪）
【八九・五〇】ニュース（東京）
【九〇・〇〇】ニュース（大阪）
【九〇・一〇】ニュース（東京）
【九〇・二〇】ニュース（大阪）
【九〇・三〇】ニュース（東京）
【九〇・四〇】ニュース（大阪）
【九〇・五〇】ニュース（東京）
【九一・〇〇】ニュース（大阪）
【九一・一〇】ニュース（東京）
【九一・二〇】ニュース（大阪）
【九一・三〇】ニュース（東京）
【九一・四〇】ニュース（大阪）
【九一・五〇】ニュース（東京）
【九二・〇〇】ニュース（大阪）
【九二・一〇】ニュース（東京）
【九二・二〇】ニュース（大阪）
【九二・三〇】ニュース（東京）
【九二・四〇】ニュース（大阪）
【九二・五〇】ニュース（東京）
【九三・〇〇】ニュース（大阪）
【九三・一〇】ニュース（東京）
【九三・二〇】ニュース（大阪）
【九三・三〇】ニュース（東京）
【九三・四〇】ニュース（大阪）
【九三・五〇】ニュース（東京）
【九四・〇〇】ニュース（大阪）
【九四・一〇】ニュース（東京）
【九四・二〇】ニュース（大阪）
【九四・三〇】ニュース（東京）
【九四・四〇】ニュース（大阪）
【九四・五〇】ニュース（東京）
【九五・〇〇】ニュース（大阪）
【九五・一〇】ニュース（東京）
【九五・二〇】ニュース（大阪）
【九五・三〇】ニュース（東京）
【九五・四〇】ニュース（大阪）
【九五・五〇】ニュース（東京）
【九六・〇〇】ニュース（大阪）
【九六・一〇】ニュース（東京）
【九六・二〇】ニュース（大阪）
【九六・三〇】ニュース（東京）
【九六・四〇】ニュース（大阪）
【九六・五〇】ニュース（東京）
【九七・〇〇】ニュース（大阪）
【九七・一〇】ニュース（東京）
【九七・二〇】ニュース（大阪）
【九七・三〇】ニュース（東京）
【九七・四〇】ニュース（大阪）
【九七・五〇】ニュース（東京）
【九八・〇〇】ニュース（大阪）
【九八・一〇】ニュース（東京）
【九八・二〇】ニュース（大阪）
【九八・三〇】ニュース（東京）
【九八・四〇】ニュース（大阪）
【九八・五〇】ニュース（東京）
【九九・〇〇】ニュース（大阪）
【九九・一〇】ニュース（東京）
【九九・二〇】ニュース（大阪）
【九九・三〇】ニュース（東京）
【九九・四〇】ニュース（大阪）
【九九・五〇】ニュース（東京）
【一〇〇・〇〇】ニュース（大阪）
【一〇〇・一〇】ニュース（東京）
【一〇〇・二〇】ニュース（大阪）
【一〇〇・三〇】ニュース（東京）
【一〇〇・四〇】ニュース（大阪）
【一〇〇・五〇】ニュース（東京）
【一〇一・〇〇】ニュース（大阪）
【一〇一・一〇】ニュース（東京）
【一〇一・二〇】ニュース（大阪）
【一〇一・三〇】ニュース（東京）
【一〇一・四〇】ニュース（大阪）
【一〇一・五〇】ニュース（東京）
【一〇二・〇〇】ニュース（大阪）
【一〇二・一〇】ニュース（東京）
【一〇二・二〇】ニュース（大阪）
【一〇二・三〇】ニュース（東京）
【一〇二・四〇】ニュース（大阪）
【一〇二・五〇】ニュース（東京）
【一〇三・〇〇】ニュース（大阪）
【一〇三・一〇】ニュース（東京）
【一〇三・二〇】ニュース（大阪）
【一〇三・三〇】ニュース（東京）
【一〇三・四〇】ニュース（大阪）
【一〇三・五〇】ニュース（東京）
【一〇四・〇〇】ニュース（大阪）
【一〇四・一〇】ニュース（東京）
【一〇四・二〇】ニュース（大阪）
【一〇四・三〇】ニュース（東京）
【一〇四・四〇】ニュース（大阪）
【一〇四・五〇】ニュース（東京）
【一〇五・〇〇】ニュース（大阪）
【一〇五・一〇】ニュース（東京）
【一〇五・二〇】ニュース（大阪）
【一〇五・三〇】ニュース（東京）
【一〇五・四〇】ニュース（大阪）
【一〇五・五〇】ニュース（東京）
【一〇六・〇〇】ニュース（大阪）
【一〇六・一〇】ニュース（東京）
【一〇六・二〇】ニュース（大阪）
【一〇六・三〇】ニュース（東京）
【一〇六・四〇】ニュース（大阪）
【一〇六・五〇】ニュース（東京）
【一〇七・〇〇】ニュース（大阪）
【一〇七・一〇】ニュース（東京）
【一〇七・二〇】ニュース（大阪）
【一〇七・三〇】ニュース（東京）
【一〇七・四〇】ニュース（大阪）
【一〇七・五〇】ニュース（東京）
【一〇八・〇〇】ニュース（大阪）
【一〇八・一〇】ニュース（東京）
【一〇八・二〇】ニュース（大阪）
【一〇八・三〇】ニュース（東京）
【一〇八・四〇】ニュース（大阪）
【一〇八・五〇】ニュース（東京）
【一〇九・〇〇】ニュース（大阪）
【一〇九・一〇】ニュース（東京）
【一〇九・二〇】ニュース（大阪）
【一〇九・三〇】ニュース（東京）
【一〇九・四〇】ニュース（大阪）
【一〇九・五〇】ニュース（東京）
【一一〇・〇〇】ニュース（大阪）
【一一〇・一〇】ニュース（東京）
【一一〇・二〇】ニュース（大阪）
【一一〇・三〇】ニュース（東京）
【一一〇・四〇】ニュース（大阪）
【一一〇・五〇】ニュース（東京）
【一一一・〇〇】ニュース（大阪）
【一一一・一〇】ニュース（東京）
【一一一・二〇】ニュース（大阪）
【一一一・三〇】ニュース（東京）
【一一一・四〇】ニュース（大阪）
【一一一・五〇】ニュース（東京）
【一一二・〇〇】ニュース（大阪）
【一一二・一〇】ニュース（東京）
【一一二・二〇】ニュース（大阪）
【一一二・三〇】ニュース（東京）
【一一二・四〇】ニュース（大阪）
【一一二・五〇】ニュース（東京）
【一一三・〇〇】ニュース（大阪）
【一一三・一〇】ニュース（東京）
【一一三・二〇】ニュース（大阪）
【一一三・三〇】ニュース（東京）
【一一三・四〇】ニュース（大阪）
【一一三・五〇】ニュース（東京）
【一一四・〇〇】ニュース（大阪）
【一一四・一〇】ニュース（東京）
【一一四・二〇】ニュース（大阪）
【一一四・三〇】ニュース（東京）
【一一四・四〇】ニュース（大阪）
【一一四・五〇】ニュース（東京）
【一一五・〇〇】ニュース（大阪）
【一一五・一〇】ニュース（東京）
【一一五・二〇】ニュース（大阪）
【一一五・三〇】ニュース（東京）
【一一五・四〇】ニュース（大阪）
【一一五・五〇】ニュース（東京）
【一一六・〇〇】ニュース（大阪）
【一一六・一〇】ニュース（東京）
【一一六・二〇】ニュース（大阪）
【一一六・三〇】ニュース（東京）
【一一六・四〇】ニュース（大阪）
【一一六・五〇】ニュース（東京）
【一一七・〇〇】ニュース（大阪）
【一一七・一〇】ニュース（東京）
【一一七・二〇】ニュース（大阪）
【一一七・三〇】ニュース（東京）
【一一七・四〇】ニュース（大阪）
【一一七・五〇】ニュース（東京）
【一一八・〇〇】ニュース（大阪）
【一一八・一〇】ニュース（東京）
【一一八・二〇】ニュース（大阪）
【一一八・三〇】ニュース（東京）
【一一八・四〇】ニュース（大阪）
【一一八・五〇】ニュース（東京）
【一一九・〇〇】ニュース（大阪）
【一一九・一〇】ニュース（東京）
【一一九・二〇】ニュース（大阪）
【一一九・三〇】ニュース（東京）
【一一九・四〇】ニュース（大阪）
【一一九・五〇】ニュース（東京）
【一二〇・〇〇】ニュース（大阪）
【一二〇・一〇】ニュース（東京）
【一二〇・二〇】ニュース（大阪）
【一二〇・三〇】ニュース（東京）
【一二〇・四〇】ニュース（大阪）
【一二〇・五〇】ニュース（東京）
【一二一・〇〇】ニュース（大阪）
【一二一・一〇】ニュース（東京）
【一二一・二〇】ニュース（大阪）
【一二一・三〇】ニュース（東京）
【一二一・四〇】ニュース（大阪）
【一二一・五〇】ニュース（東京）
【一二二・〇〇】ニュース（大阪）
【一二二・一〇】ニュース（東京）
【一二二・二〇】ニュース（大阪）
【一二二・三〇】ニュース（東京）
【一二二・四〇】ニュース（大阪）
【一二二・五〇】ニュース（東京）
【一二三・〇〇】ニュース（大阪）
【一二三・一〇】ニュース（東京）
【一二三・二〇】ニュース（大阪）
【一二三・三〇】ニュース（東京）
【一二三・四〇】ニュース（大阪）
【一二三・五〇】ニュース（東京）
【一二四・〇〇】ニュース（大阪）
【一二四・一〇】ニュース（東京）
【一二四・二〇】ニュース（大阪）
【一二四・三〇】ニュース（東京）
【一二四・四〇】ニュース（大阪）
【一二四・五〇】ニュース（東京）
【一二五・〇〇】ニュース（大阪）
【一二五・一〇】ニュース（東京）
【一二五・二〇】ニュース（大阪）
【一二五・三〇】ニュース（東京）
【一二五・四〇】ニュース（大阪）
【一二五・五〇】ニュース（東京）
【一二六・〇〇】ニュース（大阪）
【一二六・一〇】ニュース（東京）
【一二六・二〇】ニュース（大阪）
【一二六・三〇】ニュース（東京）
【一二六・四〇】ニュース（大阪）
【一二六・五〇】ニュース（東京）
【一二七・〇〇】ニュース（大阪）
【一二七・一〇】ニュース（東京）
【一二七・二〇】ニュース（大阪）
【一二七・三〇】ニュース（東京）
【一二七・四〇】ニュース（大阪）
【一二七・五〇】ニュース（東京）
【一二八・〇〇】ニュース（大阪）
【一二八・一〇】ニュース（東京）
【一二八・二〇】ニュース（大阪）
【一二八・三〇】ニュース（東京）
【一二八・四〇】ニュース（大阪）
【一二八・五〇】ニュース（東京）
【一二九・〇〇】ニュース（大阪）
【一二九・一〇】ニュース（東京）
【一二九・二〇】ニュース（大阪）
【一二九・三〇】ニュース（東京）
【一二九・四〇】ニュース（大阪）
【一二九・五〇】ニュース（東京）
【一三〇・〇〇】ニュース（大阪）
【一三〇・一〇】ニュース（東京）
【一三〇・二〇】ニュース（大阪）
【一三〇・三〇】ニュース（東京）
【一三〇・四〇】ニュース（大阪）
【一三〇・五〇】ニュース（東京）
【一三一・〇〇】ニュース（大阪）
【一三一・一〇】ニュース（東京）
【一三一・二〇】ニュース（大阪）
【一三一・三〇】ニュース（東京）
【一三一・四〇】ニュース（大阪）
【一三一・五〇】ニュース（東京）
【一三二・〇〇】ニュース（大阪）
【一三二・一〇】ニュース（東京）
【一三二・二〇】ニュース（大阪）
【一三二・三〇】ニュース（東京）
【一三二・四〇】ニュース（大阪）
【一三二・五〇】ニュース（東京）
【一三三・〇〇】ニュース（大阪）
【一三三・一〇】ニュース（東京）
【一三三・二〇】ニュース（大阪）
【一三三・三〇】ニュース（東京）
【一三三・四〇】ニュース（大阪）
【一三三・五〇】ニュース（東京）
【一三四・〇〇】ニュース（大阪）
【一三四・一〇】ニュース（東京）
【一三四・二〇】ニュース（大阪）
【一三四・三〇】ニュース（東京）
【一三四・四〇】ニュース（大阪）
【一三四・五〇】ニュース（東京）
【一三五・〇〇】ニュース（大阪）
【一三五・一〇】ニュース（東京）
【一三五・二〇】ニュース（大阪）
【一三五・三〇】ニュース（東京）
【一三五・四〇】ニュース（大阪）
【一三五・五〇】ニュース（東京）
【一三六・〇〇】ニュース（大阪）
【一三六・一〇】ニュース（東京）
【一三六・二〇】ニュース（大阪）
【一三六・三〇】ニュース（東京）
【一三六・四〇】ニュース（大阪）
【一三六・五〇】ニュース（東京）
【一三七・〇〇】ニュース（大阪）
【一三七・一〇】ニュース（東京）
【一三七・二〇】ニュース（大阪）
【一三七・三〇】ニュース（東京）
【一三七・四〇】ニュース（大阪）
【一三七・五〇】ニュース（東京）
【一三八・〇〇】ニュース（大阪）
【一三八・一〇】ニュース（東京）
【一三八・二〇】ニュース（大阪）
【一三八・三〇】ニュース（東京）
【一三八・四〇】ニュース（大阪）
【一三八・五〇】ニュース（東京）
【一三九・〇〇】ニュース（大阪）
【一三九・一〇】ニュース（東京）
【一三九・二〇】ニュース（大阪）
【一三九・三〇】ニュース（東京）
【一三九・四〇】ニュース（大阪）
【一三九・五〇】ニュース（東京）
【一四〇・〇〇】ニュース（大阪）
【一四〇・一〇】ニュース（東京）
【一四〇・二〇】ニュース（大阪）
【一四〇・三〇】ニュース（東京）
【一四〇・四〇】ニュース（大阪）
【一四〇・五〇】ニュース（東京）
【一四一・〇〇】ニュース（大阪）
【一四一・一〇】ニュース（東京）
【一四一・二〇】ニュース（大阪）
【一四一・三〇】ニュース（東京）
【一四一・四〇】ニュース（大阪）
【一四一・五〇】ニュース（東京）
【一四二・〇〇】ニュース（大阪）
【一四二・一〇】ニュース（東京）
【一四二・二〇】ニュース（大阪）
【一四二・三〇】ニュース（東京）
【一四二・四〇】ニュース（大阪）
【一四二・五〇】ニュース（東京）
【一四三・〇〇】ニュース（大阪）
【一四三・一〇】ニュース（東京）
【一四三・二〇】ニュース（大阪）
【一四三・三〇】ニュース（東京）
【一四三・四〇】ニュース（大阪）
【一四三・五〇】ニュース（東京）
【一四四・〇〇】ニュース（大阪）
【一四四・一〇】ニュース（東京）
【一四四・二〇】ニュース（大阪）
【一四四・三〇】ニュース（東京）
【一四四・四〇】ニュース（大阪）
【一四四・五〇】ニュース（東京）
【一四五・〇〇】ニュース（大阪）
【一四五・一〇】ニュース（東京）
【一四五・二〇】ニュース（大阪）
【一四五・三〇】ニュース（東京）
【一四五・四〇】ニュース（大阪）
【一四五・五〇】ニュース（東京）
【一四六・〇〇】ニュース（大阪）
【一四六・一〇】ニュース（東京）
【一四六・二〇】ニュース（大阪）
【一四六・三〇】ニュース（東京）
【

臺灣神社

御造營奉賛會に生徒、兒童も醵金

花蓮港廳下の割當決る

【花蓮港電話】昨日午前九時半から開かれた花蓮港廳協議會は、廳下各街庄の代表者十數名が參集して、臺灣神社御造營奉賛會の割當額を協議したが、廳下の割當額は一万二千三百圓にその內街庄の割當額は、一万二千圓、學校兒童の割當額は三百圓と決定した

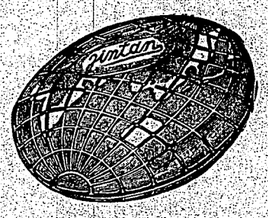
【臺南電話】臺南市內の各小學校兒童の奉賛金は、市內の各小學校兒童の奉賛金は、市內の各小學校兒童の奉賛金は、

仁丹の健康繪本

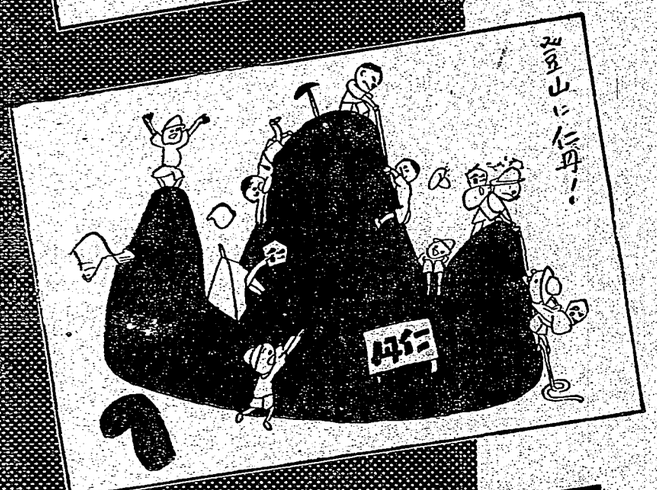
夏の一粒の仁丹は清涼と共に頭痛を解消して胃腸を整え、氣分を常に明朗にします。特に夏期に於ける疲勞倦怠を防ぎ神經系の興奮性を迅速に昂めます。

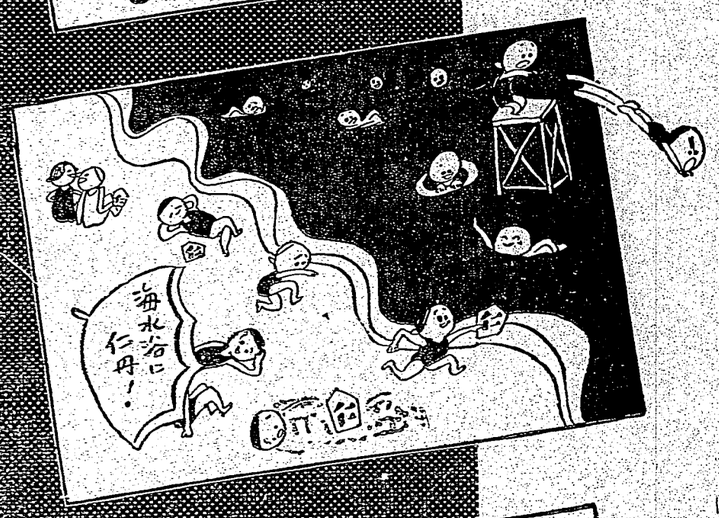
今！仁丹五拾錢分に防共容器や体育容器を添附進呈中

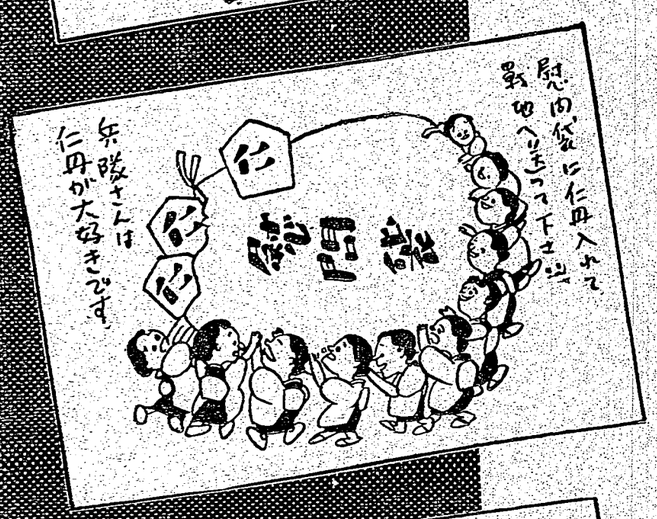
頭痛解消に
疲勞恢復に
口中殺菌に
食慾增進に
惡疫豫防に



防共容器







東京會談打切要請の排英全島民大會

十八日午後四時　臺北市公會堂に開催

台湾新民報社では地方各支部と連絡をとつて各地各市を中心に排英市民大會を開催　更に街　庄を單位としてその政治組織の強化を計つて來たが、今回各地代表の參加を求め、さきに心臓部理事會で決定せる如く十八日午後四時から臺北市公會堂において排英を目的とする大會を開き、その強化擴大をなすと共に東京會談打切りの要請を行うことゝなつた、大會は開會の辭、經過報告、決議、激勵の挨拶、萬歳三唱、閉會の辭の次第で進行、終つて音樂隊を先頭に公會堂、大稻埕、御成町、總督府前廣場を經由して盛大なデモ行進を行い總督府前で解散することになつてゐる、當夜は午後七時半から市公會堂で開かれる筈の各地代表者會議は、當局の禁止命令で流會となつた

汕頭の支那青年ら英國領事館を襲ふ

我が警備隊が適切な處置

【汕頭十五日發同盟】十四日午後四時頃石の英國領事館附近に突如約六十名の支那青年が現れ館内に收容の支那人及び英人に對しロ々に「われ等が同胞數百名人の仇をとれ」「七月廿日の英人の暴行に對し仇をとれ」「犯人を引渡せ」と英國人を脅迫し英國領事を「出て來い」など呼號しつゝ煉瓦や石を投げつけたので、急遽武裝警官隊の出動となつたので、急遽に接した支那警察當局では直ちに同領事館警備のため警力を增加し、午後四時半頃迄に殺氣立つた五百餘の群衆は漸次解散したが同五時二十分又々數百の群衆が集まつて來たので、更に警官隊が出動して嚴重警戒に當つたが同夜は無事であつた

現地代表空路歸任

日英東京會談現地側代表武藤少將一行は十四日午前六時羽田飛行場發特別機で歸任した、見送りは總督府代表の參事官、左記各官廳代表者等多數であつた

（左から田中佐、後列右大川少佐、左宮本少佐）

兄弟水入らずで心靜かな一夜を

歸還の武藤少將福岡一泊

【福岡十五日發本社特電】十四日福岡經由福岡、北支各戰線の為め博多一泊を餘儀なくされた東京會談引揚げの武藤少將等現役代表の一行は、児玉福岡縣知事等二百餘名に接した外武藤少將令兄久留米市眼科病院長、武藤尚也博士久方振りの兄弟水入らずの晩餐に快談したのみで心靜かに福岡發の一夜を明かし十五日午前十時官

時局の正しき認識を

採甲民の皇軍慰問金に見る

北支では管内各縣市から第二回皇軍慰問金を募集中のところ、民

英人の宿泊を拒む

阪神の宿屋組合が申合せ

大阪市内各業組合では英人締出しの總意を纒め英人の宿泊を拒絶するとのポスターを配る事になり十四日當局に諒解を求めたが右關合會は關西大阪の三花形のホテル

市政府幹部は島内視察

市長一行は在臺三日

公安救濟の後草山、北投をドライヴ、七時市内の招宴、十八日前九時一二分台北駅發大和丸で內地へ、滯在二九日、三日の豫定

市政府幹部一行

總督官房、法務部長、財務局長、殖産局長、交通局長、法院檢察長、台北州知事、台北市尹、警務局長、一部

【基隆十五日發同盟】基隆郡警察部では第二回皇軍慰問金募集に際し、管内各街庄に對し一人一錢以上の割當を行つたが、各地とも非常な熱意を以て應募し、十五日午後一時現在で既に一萬二千餘圓に達し、尚續々申込があるので、目標額の二萬圓は確實に突破する見込である

基隆郡は相當甚大

颱風の損害

宜蘭郡は

【宜蘭電話】宜蘭郡における今回の颱風被害は相當甚大で土木關係では道路流失二箇所（七百四十圓）橋梁流失二箇所（九千二百圓）堤防決壞十二箇所（九千二百圓）合計一万九千二百圓である、又農作物の被害多く以水面積及び被害戸数は目下調査中である

猶太人の移住を上海で斷乎阻止

工部局で布告を發す

【上海十五日發同盟】歐洲各國から追はれて國際都市上海に逃避して來るユダヤ人の數は驚異的に激増し虹口閘北一帶にかけて僅々八ケ月間に既に二万五千名を突破し現在なほ續々入港しつゝある為に租界當局では遂に最近に於ける移住ユダヤ人の數を制限する事となつたが、之れ等ユダヤ人の街を形成してゐるが、次から次へと流れて來る彼等の數は殖えるばかりで滿船の入港毎に平均五、六百人づつ增加するので收容に困難を感じ、當局は上海

北一中蹴球征途へ

全國中等學校大會に出場

先般の全島中等學校蹴球大會に北一中高校等各校大會百餘團體に北一中高校等各校を破り堂々優勝を占める台湾代表となつた北一中蹴球部はその後全國制覇を目差して猛練習を續けてゐたが愈々十六日午前九時十二分吉岡發、同十一時基隆出港の第十九で南支遠征の途に就く事となり、十五日午前練習に引續いて選手一同出發の挨拶に來訪したが何れも必勝の意氣を面に表して現れば火の出る樣な元氣一杯であつた、一行のメンバー及日程左の如し

▲メンバー

【引率者兼監督】教諭兼舍監　吉岡一郎

【選手】矢木田信男（五）、加藤朝明（五）、矢野宏太郎（五）、遠藤泰二（五）、大前榮治（四）、松山勇（四）、八板明（四）、野村正吉（四）、片岡榮夫（三）林清十八（三）草間眞二（三）、今村明（二）、吉田實（一）

▲日程

【八月二六日】午前九時十二分基隆發、午前十一時五分基隆發（台北十七）

【一七日】船中

【一八日】午前十時門司着、午後十時五十五分大阪着

【一九日】蹴球練習、大阪市營

【二〇日】伊勢神宮參拜、二見ヶ浦發

【二一日】午前十時半門司發（午後六時門司發）

【二二日】蹴球練習、神戸見學

【二三日】午前十時五十五分下關着、午後六時門司發（午後七）

【二四日】蹴球練習、休養

【二五日】第二十二回全國中等學校蹴球大會に出場

【二六日】同

【二七日】同

【二八日】同

【二九日】大阪滯在市内見學、又は休養日

【三〇日】午後九時十五分大阪發

▲宿泊所

兵庫縣武庫郡鳴尾村鳴尾、西野未德方

（電話は北一中蹴球部一三七）

世界最高記錄四つ

日本水上選手權最終日

【東京十四日發本社特電】各日本選手權水上大會第十二回オリムピック・ルヂンギ大會選考最終日は神宮プールに於行されたが各競技は左の通りであつた

【男子高飛込（決勝）】

1小濱信雄（朝鮮）二二・二七

2栗原（日大）3高須（早大）

小濱は全國選に第一回出場第一回候補選手に選ばれ今回は第二回候補選手權を獲得した

【水球決勝】

慶應二一　關學會A組

慶應は前半戰を優勢に進めた

【女子二百米平泳決勝】

1中山明子（無所屬）三分一八秒四、2矢野（鳥取高女）3南里

【男子二百米平泳決勝】

1栗原（日大）二分四〇秒四（日本新世紀本年世界最高記錄）

2大前（早稻）3片山（二田水泳會）二分四四秒四

3片山（二田水泳會）二分四四秒八

4田中（朝水會）

四位までに二分台を割る（各選手共自由型決勝參加）

【男子百米自由型決勝】

1天野（朝水）（日大）一分二一秒八（本年世界最高記錄）

2本間（早稻）一分二四秒四

3片山（二田水泳會）一分四四秒八

4田中（朝水會）

（各選手共二回泳ぐ）

【男子百米背泳決勝】

1伊藤サトシ（朝鮮）一分一六秒

2飯島（無所屬）3富田（兵庫二）

高雄の水泳

三選手北上

【高雄電】高雄州體育協會主催の第一回水上競技大會は十三日午前九時より高雄港内に於て開催、參加選手は州下各地より男女一百餘名に上り、午前中は各種競技を行ひ午後は高雄對基隆の水上競技を行ひ、午後六時より高雄州廳に於て表彰式を擧行した、尚高雄代表として出場する選手は左の三名である

高雄州立高雄中學校　吉田實

同　片岡榮夫

同　今村明

高松、早實勝つ

全國中等野球大會

【甲子園十日發同盟】全國中等學校野球大會十五日の第二回目二回戰東北代表山形中學對四國代表高松商業戰は九對一で高松勝つ

高松	0	1	0	5	1	1	0	1	9
山形	0	1	0	1	0	0	0	0	2

東京代表早稻田實業對興羽代表青森中學戰は十對五で早實大勝す

早實	0	3	1	0	0	1	0	0	5
スコアー	1	0	0	0	0	0	0	0	1

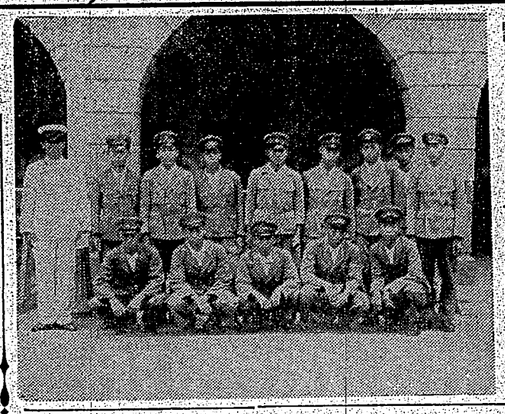
臺灣漢詩欄

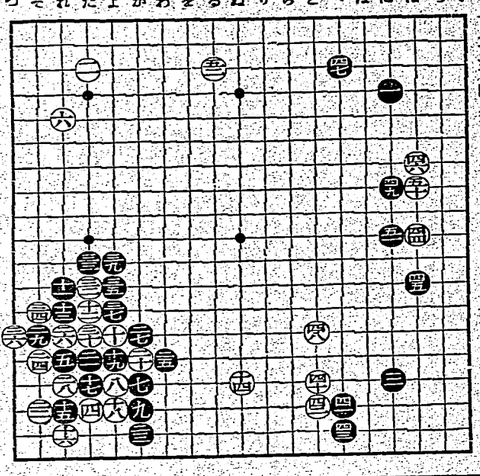
題畫

魏清德

金猫踏起千歳名、三徙家風一例評。應識諸山圖學校、知君愛鄙郷情。

金猫慈母係指文官帽也





澁い小桂馬拓さ

勢力の均衡を保つが肝要

評解　七段　加藤　信

◇坂田君は徳二に考慮の後此處はこの一手とばかり四一、四二と打つた（編者）

黒四一、四二の意味する處は下の圖に於て白四十一と打つた

しようと云ふのであつて、この場合に處して適切な手段と謂ふべき、即ち圖に於て白四十一に打つ事を先手にしたのも、最も好くの如き美しい手段が在るからである

◇黒四一、四三と打つたが此下隅を黒の地盤と看做す事が出來るのは下邊の白の三子が居いからに外ならない、つまり白が隅に手段を施すと下邊の友軍に累を及ぼすは必至の情態にあるからである

偶此場合黒四一で普通の如く「ニノ十四」に受けるのは、後着の誘りを免がれない

◇白四四の點打は當然、御打は原則として左右何れかに一間にヒラキ得る餘地を有してゐなければいけないのである、故に圖して云へば、黒四五とツメれば白四六とヒラキ、反對に黒はノ八七のカカリへ來れば、白はノ十二二といふ具合に

（解説）　黒四五の時、上下何れからツメるかが要點であるが云へば、矢張り四五と下方からツメるのが、場合に適つてゐる、それは下邊の白をそれなく攻めてゐる意味があるからである

◇黒は四七と出くか、ケイマに受けた

（解説）　黒が小ケイマにヒラく手は、近時よく見れるが、本來は少しく堅實に過ぎるといふ定説の下に、あまり用ひられなかつたのである、しかし作ら矢張り立派な一手ではある、黒の意中は先づ四七と堅く構へて置いて、次に長隅つるノ四辺りへ飛躍しようといふのであらう

◇然で白は四八とトビ、下邊の石に補强工作を施した、だが黒者は此の手でもノ二の方面に手いてゐるから、白は下邊で右へ